

令和4年度柴田町議会懇談会

報 告 書

令和5年3月31日

柴 田 町 議 会

議会の活動を町民に報告するとともに、議会や町政に対する町民の意見・要望等を直接聴取し議会活動に反映させるため、柴田町議会基本条例第11条に基づき、毎年、一般懇談会、団体懇談会、柴田高校との懇談会等を開催しています。

ここ数年は世界中でまん延する新型コロナウイルスの影響を受け、行動制限がされたことにより、各種懇談会においても中止・規模縮小していたところですが、令和4年度は、専門家の知見が反映されたガイドラインや国・県・町からのお知らせ等を参考に、感染症対策を施したうえで各種の懇談会を開催することができました。

一般懇談会については3年ぶりに対面形式に戻し、10月に全議員が町内の中学校区3会場に分かれ、特定テーマであるスポーツ関連及び町政議会全般の2つの題目で、会場ごとに議員が企画運営するワークショップ形式で開催し、町民より多様な意見を聴くことができました。

また、一般懇談会の開催前には、議員が懇談テーマに対して基礎的知識を得ることなどを目的として、町民も自由に参加できる公開研修会を、仙台大学の副学長を講師に招き開催しました。

団体懇談会の開催については、各常任委員会に一任し、委員会ごとに活動テーマに基づく団体を選定するなどして活発な意見交換となりました。懇談会を開催した団体は、町内中学校校長、町内タクシー事業者及び町内上下水道組合の3つの団体です。

7月に開催した、柴田高校との懇談会については平成28年度から継続して開催しています。コロナ禍の状況でも継続して開催することが重要であることから、オンラインの活用、参加人員の制限など毎年工夫して開催しています。今年度は、これまでの生徒と議員の懇談形式から、普段、議員と関わることの少ない町の若手役場職員を加えて開催し、若い世代が考えている現状と課題について、各世代の本音を聴くことができました。

一方で、11月の土曜日には前年度に引き続き、タブレット端末を活用したオンライン形式での懇談会も開催しました。今年度の試みとして公募で募集した一般町民などに参加いただき、ネット上の仮想会議室に招待して開催しました。懇談会の開催が対面形式だけとは限らず、オンラインでの懇談もひとつの形式と位置づけられるため、システム利用の改善の余地はありますが、今後も継続的に開催する必要性を感じました。

これらの各種懇談会の開催要領や会議録及び懇談会活動記録等について、次のとおり報告します。

令和5年3月31日

議長 高橋 たい子 殿

議会懇談会実行委員会

委員長 石森 靖明

副委員長 小田部 峰之

委員 安藤 義憲

委員 桜場 政行

委員 大坂 三男

委員 白内 恵美子

目次

1 一般懇談会【対面形式】	7
(1)周知チラシ・グループ分け名簿	9
(2)会議録	12
(3)参加者アンケート・アンケート内容	20
(4)記録写真	24
2 公開議員研修会	31
(1)周知チラシ	33
(2)レジュメ	35
(3)記録写真	38
3 団体懇談会	41
(1)総務常任委員会 報告書及び記録写真	43
(2)文教厚生常任委員会 報告書及び記録写真	55
(3)産業建設常任委員会 報告書及び記録写真	65
4 柴田高校との懇談会	73
(1)開催要領	75
(2)各種資料	78
(3)会議録	81
(3)記録写真	85

5 オンライン懇談会	-----	89
(1)開催要領	-----	91
(2)会議録	-----	92
(3)記録写真	-----	94
6 令和5年度議会懇談会実行委員会への申し送り事項	-----	97

1 一般懇談会(対面形式)

・開催日時 令和4年10月22日(土)
14時～15時30分

・場 所 柴田町役場 多目的ホール
船迫公民館 会議室
農村環境改善センター 会議室

・参加者
町民 21名
議員 18名

町民と議会のワークショップ

懇談テーマ

「スポーツを通して夢を語ろう!!」

10/22
(土)

会場

- 柴田町役場 4階多目的ホール 【主に船岡地区にお住まいの方】
- 農村環境改善センター 1階 農事研修室 【主に槻木地区にお住まいの方】
- 船迫公民館 1階 会議室 【主に船迫地区にお住まいの方】

対象者

全会場とも 14:00～15:30

※会場ごとに主な対象行政区を記載していますが、指定された会場以外でも参加できます。

出席議員

・柴田町役場 4階
(多目的ホール)
主な対象行政区
1区～9B区、11A区～
12B区、30区

石森 靖明



安藤 義憲



佐久間光洋



秋本 好則



平間奈緒美



高橋たい子



出席議員

・農村環境改善
センター(農事研修室)
主な対象行政区
13区～27区

大坂 三男



森 裕樹



加藤 滋



桜場 政行



吉田 和夫



佐々木裕子



出席議員

・船迫公民館
(会議室)
主な対象行政区
10区、28区～29D区

白内恵美子



伊東 潤



吉田 清



小田部峰之



平間 幸弘



広沢 真



(当日の内容)

- ①議会からの活動報告
- ②懇談その1 「スポーツを通して夢を語ろう!!」
- ③懇談その2 「町政・議会先般」

少人数のグループに分かれ、気軽に対話するワークショップ形式で行います。

A 役場多目的ホール	代表者	石森 靖明	司 会	高橋たい子	記 録	佐久間光洋
	副代表者	秋本 好則	フアシリ テニタ	平間奈緒美	記 録	安藤 義憲

B 農村環境改善センター農 セタタム 研修室	代表者	大坂 三男	司 会	加藤 滋	記 録	佐々木裕子
	副代表者	吉田 和夫	フアシリ テニタ	森 裕樹	記 録	桜場 政行

C 船迫公民館 会議室	代表者	白内恵美子	司 会	小田部峰之	記 録	吉田 清
	副代表者	平間 幸弘	フアシリ テニタ	広沢 真	記 録	伊東 潤

「スポーツを通して夢を語ろう！！」

●①どんなスポーツ(運動)をしていますか、もしくは、やってみたいですか？

●②そんなスポーツ(運動)を通して夢を語ってみましょう！！

「町政・議会全般」

テーマ1 スポーツを通して夢を語ろう！！

■ どんなスポーツ(運動)をしていますか？やってみたいですか？

・グランドゴルフ ・散歩 ・筋トレ ・ジョギング ・ランニング ・ビニールボール ・パークゴルフ
 ・ゴルフ ・パルクール ・逃走中(鬼ごっこ) ・フットサル ・フットゴルフ ・ボルダリング
 ・ラクロス ・サイクル(自転車) ・ジム ・ソフトボール ・バタフライ水球 ・野球 ・忍者 ・石けり
 ・木登り ・体幹トレーニング(ヨガ) ・50歳以上のサッカー ・マラソン ・アスレチック(コース体験)

以上がスポーツ(運動)の種類、懇談会は2つのテーブルで行われたが一つにまとめた。

■ そんなスポーツ(運動)を通して夢を語ろう！！

上記と同様に羅列すると

・福男(城址公園で) ・仲間を増やしたい ・スポーツバーで交流 ・見るスポーツ(感動)
 もう一度グランドゴルフを仙台大学のグラウンドでやりたい
 ・健康寿命世界一、日本一を仙台大学との連携で行いたい
 ・大学生の試合を町民で応援する → ファンクラブ → 資金の獲得
 ・東船岡駅の背後地にキャンプ場を
 ・AMS(アート、音楽、スポーツ)を通して皆が楽しめる行政であれば良い
 ・スポーツ=遊び、心をうつす、地域のつながり、全日本大会を間近で見たい
 ・遊びからスポーツへ(昔、遊びから Ex.石けり、忍者ごっこ)
 ・スポーツを通して、人の成長(心、身体)につなげたらいい

テーマ2 町政・議会全般

■ 町政・議会(全般)に対して

・他でやっているイベントなど、柴田町ではなぜやっていないの？
 → やらない理由を明らかにして欲しい
 ・災害時の連絡体制の整備【総務常任委員会】
 ・シェルターを作るべきではないか【総務常任委員会】
 ・無関心な人を引き寄せる政策を求める ・しゃべり場を作って欲しい
 ・学校教育と家庭教育が混在しているのではないか？
 → 就業前の家庭教育の在り方(個々の問題)
 ・行政の仕組み、縦割りをなくせ【総務常任委員会】

等が話題となった。

■ 議会(全般)に対して

・若い人に政治に参加してほしい → 若返り

・当該項目は現状認識で終わりました。

テーマ1 スポーツを通して夢を語ろう！！

■ どんなスポーツ(運動)をしていますか？やってみたいですか？

- ・食事は腹八分目にして、体重を落とした。 ・70を前にいろんなことに挑戦したい
- ・ウォーキング 8,000～9,000 歩 ・高齢者は、手足の指を動かすことが大切
- ・昔は陸上とフェンシングをしていた。今年はノルディックウォーキングを始めた。
- ・高齢者は傷みが取れない。個人によって痛みの取り方が違う。合ったやり方が必要。
- ・他の運動法を考えながらのスポーツじゃなく健康法
- ・座っているより立っている方がいい
- ・ウォーキングで血糖値が下がった。坂道を歩くようにしている。
- ・70 歳代、何が身体に良いのか？ウォーキングが一番良い
- ・ノルディック体験会 10 名ウォーキング
- ・えぼしスキー場でスキーを 15 年ぶりにやってみた
- ・専門は野球 ・グランドゴルフ ・パークゴルフ ・ラジオ体操 ・山登り
- ・8,000 歩ウォーキング ・自然とふれあうスポーツ ・テニス ・ランニング ・水泳 ・農業
- ・ダンススポーツ ・登山 ・バスケットボール ・ズンバ ・草刈り(夏場は毎週末かも)
- ・歩く、ひたすら歩く(なるべく車使わないように工夫する)
- ・ゴルフの練習とラウンド 2 回位 ・個人でできる運動種目は限られる
- ・年齢とともにできるスポーツは限られる。最後は歩くのが一番
- ・運動が出来なくなってくる高齢者にどんなスポーツが良いか

■ そんなスポーツ(運動)を通して夢を語ろう！！

- ・パークゴルフ・グランドゴルフ場が町内にも必要。みんなが楽しめるような場所がほしい。
- ・スケートボードができる場所がほしい。
- ・パークゴルフ、スケボーや老人も若人も遊べる場所
- ・サイクリングが安心してできるようにしてほしい。
- ・スポーツで痛めた時の対応方法が大切
- ・仙台大学からノウハウを学ぶと共にわが町の大学を応援する。
- ・自分が出来るものを
- ・朝に集まってみんなで、ラジオ体操をするのも大事 ・楽しくスポーツをやる。
- ・大人と子供と一緒に遊べる場が必要。
- ・行政区でもスポーツに目を向けること
- ・ゲームをしている子にスポーツの楽しさを教えたい
- ・ウォーキングやスポーツで集まった人のおしゃべりも大事
- ・北海道・札幌区でも施設が整備されている ・見る、やる、支える
- ・スポーツ施設の環境を整えるべきでは
- ・スポーツは町の活性化につながる

- ・現況を把握すべきでは ・サブ・アリーナ 柔道・剣道出来ない
- ・県プール使用できない ・新体育館と柴田球場との連携
- ・見るスポーツ ・仙台大学との連携を ・柴田高校との連携も

テーマ2 町政・議会全般

■ 町政(全般)に対して

- ・ごみが目立つ・交通ルールを守る町(仙南クリニック交差点)
- ・「花のまち柴田」と言えども町が汚い
- ・城址公園より、町をきれいにした方が良い
- ・太陽の村 道路脇にゴミが捨ててある
- ・ごみを捨てると軽犯罪になる
- ・柴田小学校、将来を見据えて検討すべき 【文教厚生常任委員会】
- ・住民自治は、住民が自分たちでできることをする。
- ・近所同士の助け合い、支えあいが必要
- ・交通弱者を今後どう考えているのか 【総務常任委員会】
- ・物価上昇による町民への支援、インフレ手当 【総務常任委員会】
- ・災害(水害)時の避難、緊急対応 【総務常任委員会】
- ・各区の自主防災に求めるものは 【総務常任委員会】
- ・物価高対策を早急にすべき 【総務常任委員会】
- ・意見をじっくり聞いてくれ
- ・補助金出しすぎ、国、県、町、もっと全体を支えて支出すべき
- ・新図書館は建設すべきではない。国の補助が2分の1あるとしても残りは町民の税金だ。要らないと思っている人がいるのだから建設すべきではない。福島県大熊町では、費用がかかりすぎるため図書館の再利用を考えずに解体する予定である。私は建設反対の署名を集めるつもりだ。新体育館建設に反対しなかったのは、官民連携で建設するため。民間がお金を出すので柴田町の負担が減り、図書館建設とは異なる。 【文教厚生常任委員会】
- ・公共施設に設置している飲料水の自動販売機は、災害時や防犯に役立つ販売機に切り替えるべきである。町や議員に何度も言っているが、実施されない。 【総務常任委員会】

■ 議会(全般)に対して

- ・議員定数を減らしては
- ・議会懇談会は、小グループでの話し合いではなく、住民と議員が向かい合って討論すべき。テーマを決めての話し合いでは、言いたいことが言えない。
- ・議会懇談会の時間が短すぎる。言いたいことが言えずに終了となった。議員は住民の意見をちゃんと聞くべきだ。

テーマ1 スポーツを通して夢を語ろう！！

■ どんなスポーツ(運動)をしていますか？やってみたいですか？

A

- ・野球（道具は揃えたが、スポーツはやはり苦手でした。道具はカビが生え捨てた）
- ・農作業は筋肉運動になっている。（農作業は手作りに心がけ、いちから[種植え]から行うことで、体全身の運動となっている。）
- ・農業（米の移動運搬や草取り、草刈り等も運動になっている。）
- ・車の乗り降りを1日60回ぐらいしているのが、運動になっている。
- ・ソフトボール・バレーボール他。（昔、企業で盛んにスポーツが行われていたが、今は少なくなっている。）
- ・野球・ソフトボール・バレーボール・卓球・バスケットボール等。（昭和年代はスポーツが盛んで、企業においても活発に取り組み、企業対抗試合も行われていた。）
- ・バレーボール等（企業と地域等のコミュニケーションに交流試合も行ってた。）
- ・バドミントン（子供の応援）・ウォーキング

B

- ・農家の仕事 ・水泳 ・バレーボールの指導 ・少し強めの散歩 ・ヨガ ・愛犬との散歩
- ・下手なゴルフ ・ラグビー ・一日一万歩 ・フットパス ・登山

■ そんなスポーツ(運動)を通して夢を語ろう！！

A

- ・スポーツを通して地域のコミュニケーションが活発になると思う。昔は、町民大会があり地域ごとに団結し、町全体で賑わいがあった。
- ・里山ハイキングコース（学校行事に取り入れたらよいのでは。地域を知るため。）
- ・コロナ対策を徹底して行えば、スポーツイベントもそろそろ出来るのではないか。
- ・21～24区で グランドゴルフを実施する予定。
- ・工夫しながら続けていかないと次に繋がらない。
- ・区内として、町内のゴミ拾いによりきれいな町に、運動をかねて。
- ・ウォーキングコース（フットパスコース）等を活用し、子供たちに町や地域についてもっと 知ってもらおう。
- ・自転車通学も筋力アップにつながる。（コースの整備を。）
- ・コロナ禍の中でも、子供会も2回に分けて行い楽しんだ。

B

- ・健康のために歩きたい。 ・歩きやすいコース(歩きたくなる) ・スリムな身体になりたい。
- ・健康維持 ・体調管理

テーマ2 町政・議会全般

■ 町政・議会(全般)に対して

- 1 県の施設であるヒルズは利用が多いが、施設の改修が進まず利用が出来ないので早急な修繕をしていただきたい。【文教厚生常任委員会】
- 2 稲荷山用水のコーティングが剥がれていて歩きづらい。修繕をお願いする。【産業建設常任委員会】
- 3 おとみ坂の町道の上に木があり倒れたら町道におちるので危険である。伐採等安全対策をお願いする。(地権者がいるので話し合いをしてほしい)【産業建設常任委員会】
- 4 大沢田のため池の木が倒木しかかっている。ため池の管理をしっかりしてほしい。【産業建設常任委員会】
- 5 槻木郵便局から旧コメリへの路線で、犬の散歩中、糞の後始末をしない飼い主がいる。マナーの周知をお願いする。【総務常任委員会】
- 6 槻木の町グランド(河川敷)から川に向かう道路が長年、繁茂する草木を刈り取って頂きたい。【産業建設常任委員会】
- 7 道路(町道)排水路の補修
- 8 デジタル化は勉強会等をやるべきである。【総務常任委員会】
- 9 槻木駅前の活性化をどのようにしていくのか。【産業建設常任委員会】
- 10 水害時の避難場所が不足では。【総務常任委員会】
- 11 水害時の阿武隈川の決壊を想定した、避難場所の再検討が必要ではないか。【総務常任委員会】
- 12 デジタル化もいいがアナログも必要ではないか。
- 13 マイナンバーカードの活用について、病院を変えた時に分かってしまうので、マイナンバー活用についての情報発信をもっとするべきである。(勉強会を)【総務常任委員会】
- 14 内水等により水害災難時の避難場所の見直しが必要ではないか。【総務常任委員会】
- 15 町道の法面の手入れをしっかりしてほしい。

■ 議会(全般)に対して

- 1 議員懇談会の出席者が少ないPR不足ではないか。

議会懇談会 【意見要望 委員会ごとに割振り】

■ 町政・議会(全般)に対して【総務常任委員会 担当】

- ①災害時の連絡体制の整備。
- ②シェルターを作るべきではないか。
- ③行政の仕組み、縦割りをなくせ。
- ④交通弱者を今後どう考えているのか。
- ⑤物価上昇による町民への支援、インフレ手当。
- ⑥災害(水害)時の避難、緊急対応。
- ⑦各区の自主防災に求めるものは。
- ⑧物価高対策を早急にすべき。
- ⑨公共施設に設置している飲料水の自動販売機は、災害時や防犯に役立つ販売機に切り替えるべきである。町や議員に何度も言っているが、実施されない。
- ⑩槻木郵便局から旧コメリへの路線で、犬の散歩中、糞の後始末をしない飼い主がいる。マナーの周知をお願いする。
- ⑪デジタル化は勉強会等をやるべきである。
- ⑫水害時の避難場所が不足では。
- ⑬水害時の阿武隈川の決壊を想定した、避難場所の再検討が必要ではないか。
- ⑭マイナンバーカードの活用について、病院を変えた時に分かってしまうので、マイナンバー活用についての情報発信をもっとするべきである。(勉強会を)
- ⑮内水等により水害災難時の避難場所の見直しが必要ではないか。

■ 町政・議会(全般)に対して【文教厚生常任委員会 担当】

- ①柴田小学校、将来を見据えて検討すべき
- ②新図書館は建設すべきではない。国の補助が2分の1あるとしても残りは町民の税金だ。要らないと思っている人がいるのだから建設すべきではない。福島県大熊町では、費用がかかりすぎるため図書館の再利用を考えずに解体する予定である。私は建設反対の署名を集めるつもりだ。新体育館建設に反対しなかったのは、官民連携で建設するため。民間がお金を出すので柴田町の負担が減り、図書館建設とは異なる。
- ③県の施設であるヒルズは利用が多いが、施設の改修が進まず利用が出来ないので早急な修繕をしていただきたい。

■ 町政・議会(全般)に対して【産業建設常任委員会 担当】

- ①稲荷山用水のコーティングが剥がれていて歩きづらい。修繕をお願いする。
- ②音見坂の町道の上に木があり倒れたら町道におちるので危険である。伐採等安全対策をお願いする。(地権者がいるので話し合いをしてほしい)
- ③大沢田のため池の木が倒木しかかっている。ため池の管理をしっかりしてほしい。
- ④槻木の町グラウンド(河川敷)から川に向かう道路が長年、繁茂する草木を刈り取って頂きたい。
- ⑤槻木駅前の活性化をどのようにしていくのか。

議会懇談会【意見要望 委員会ごと対応方法】

■ 町政・議会(全般)に対して 【総務常任委員会 担当】	対応方法
<p>①災害時の連絡体制の整備。</p> <p>②シェルターを作るべきではないか。</p> <p>③行政の仕組み、縦割りをなくせ。</p> <p>⑨公共施設に設置している飲料水の自動販売機は、災害時や防犯に役立つ販売機に切り替えるべきである。町や議員に何度も言っているが、実施されない。</p>	意見として承ります。
<p>④交通弱者を今後どう考えているのか。</p>	総務常任委員会の重点調査項目として調査しております。
<p>⑤物価上昇による町民への支援、インフレ手当。</p> <p>⑧物価高対策を早急にすべき。</p>	国の支援制度に基づき、町でも各種補正予算に計上しておりますので、議会としても注視していきます。
<p>⑥災害(水害)時の避難、緊急対応。</p>	町では防災行政無線、防災ラジオ、ライン、メール配信等で各種避難情報を提供しています。各人の情報受信可能な媒体を活用して利用をお願いします。
<p>⑦各区の自主防災に求めるものは。</p>	自主防災組織により、活動内容・備品に特徴があります。要望があれば、お住い地区の防災組織の長と協議してみてください。
<p>⑩デジタル化は勉強会等をやるべきである。</p>	町では高齢者向けのスマホ教室等を開催するなどしていることを把握しています。なお、要望があったことを担当課へ伝えました。
<p>⑩槻木郵便局から旧コメリへの路線で、犬の散歩中、糞の後始末をしない飼い主がいる。マナーの周知をお願いする。</p> <p>⑫水害時の避難場所が不足では。</p> <p>⑬水害時の阿武隈川の決壊を想定した、避難場所の再検討が必要ではないか。</p> <p>⑮内水等により水害災難時の避難場所の見直しが必要ではないか。</p> <p>⑭マイナンバーカードの活用について、病院を変えた時に分かってしまうので、マイナンバー活用についての情報発信をもっとすべきである。(勉強会を)</p>	意見・要望があったことを担当課へ伝えました。

【文教厚生常任委員会 担当】	対応方法
①柴田小学校、将来を見据えて検討すべき	特認校として運営しているため、今後、委員会で注視していきます。
②新図書館は建設すべきではない。国の補助が2分の1あるとしても残りは町民の税金だ。要らないと思っている人がいるのだから建設すべきではない。福島県大熊町では、費用がかかりすぎるため図書館の再利用を考えずに解体する予定である。私は建設反対の署名を集めるつもりだ。新体育館建設に反対しなかったのは、官民連携で建設するため。民間がお金を出すので柴田町の負担が減り、図書館建設とは異なる。	誤解があるようですが、一意見として委員間で共有させていただきました。
③県の施設であるヒルズは利用が多いが、施設の改修が進まず利用が出来ないので早急な修繕をしていただきたい。	今後の所管事務調査で調査項目として取り上げ、行政視察を実施する予定です。
【産業建設常任委員会 担当】	対応方法
①稲荷山用水のコーティングが剥がれていて歩きづらい。修繕をお願いする。 ②音見坂の町道の上に木があり倒れたら町道におちるので危険である。伐採等安全対策をお願いする。(地権者がいるので話し合いをしてほしい) ④槻木の町グラウンド(河川敷)から川に向かう道路に、長年にわたり繁茂している草木を刈り取って頂きたい。	執行部に状況を伝えるとともに、現委員会で現場を確認する予定です。
③大沢田のため池の木が倒木しかかっている。ため池の管理をしっかりしてほしい。	執行部に状況を伝えるとともに、今後委員会で現場を確認する予定です。
⑤槻木駅前の活性化をどのようにしていくのか。	意見として承ります。

	役場多目的 ホール	改 善 センター	船 迫 公民館	総計	
1 住まい					
船岡小学校区	4	0	0	4	22%
槻木小学校区	0	3	1	4	22%
船迫小学校区	0	0	5	5	28%
東船岡小学校区	1	0	0	1	6%
柴田小学校区	0	3	0	3	17%
西住小学校区	0	0	0	0	0%
未記入	1	0	0	1	6%
合計	6	6	6	18	100%

2 性別					
男性	5	6	6	17	94%
女性	1	0	0	1	6%
未記入	0	0	0	0	0%
合計	6	6	6	18	100%

3 年齢					
10代以下	0	0	0	0	0%
20代	0	0	0	0	0%
30代	1	0	0	1	6%
40代	1	0	0	1	6%
50代	2	0	0	2	11%
60代	0	0	3	3	17%
70代	1	4	3	8	44%
80代以上	1	2	0	3	17%
未記入	0	0	0	0	0%
合計	6	6	6	18	100%

4-1 参加のきっかけ					
チラシ	1	1	1	3	17%
お知らせ版	1	1	3	5	28%
HP	0	0	0	0	0%
議員からの呼びかけ	4	3	1	8	44%
その他	0	1	1	2	11%
未記入	0	0	0	0	0%
合計	6	6	6	18	100%

	役場多目的 ホール	改 善 センター	船 迫 公民館	総計	
4-2 懇談会への参加回数					
はじめて	4	3	3	10	56%
2回から3回	1	2	2	5	28%
4回以上	1	1	1	3	17%
未記入	0	0	0	0	0%
合計	6	6	6	18	100%

	役場多目的 ホール	改 善 センター	船 迫 公民館	総計	
4-3-1 懇談会テーマ					
良い	6	4	2	12	67%
悪い	0	0	2	2	11%
未記入	0	2	2	4	22%
合計	6	6	6	18	100%

	役場多目的 ホール	改 善 センター	船 迫 公民館	総計	
4-3-2 懇談会開催時期					
良い	6	6	5	17	94%
悪い	0	0	1	1	6%
未記入	0	0	0	0	0%
合計	6	6	6	18	100%

	役場多目的 ホール	改 善 センター	船 迫 公民館	総計	
4-3-3 時間帯					
良い	6	6	5	17	94%
悪い	0	0	1	1	6%
未記入	0	0	0	0	0%
合計	6	6	6	18	100%

	役場多目的 ホール	改 善 センター	船 迫 公民館	総計	
4-3-4 時間					
長い	2	0	0	2	11%
ちょうど良い	3	6	4	13	72%
短い	1	0	2	3	17%
未記入	0	0	0	0	0%
合計	6	6	6	18	100%

	役場多目的 ホール	改 善 センター	船 迫 公民館	総計	
4-3-5 開催場所					
良い	6	5	4	15	83%
悪い	0	1	2	3	17%
未記入	0	0	0	0	0%
合計	6	6	6	18	100%

	役場多目的 ホール	改 善 センター	船 迫 公民館	総計	
4-3-6 話し合い方法					
良い	6	6	3	15	83%
悪い	0	0	3	3	17%
未記入	0	0	0	0	0%
合計	6	6	6	18	100%

	役場多目的 ホール	改 善 センター	船 迫 公民館	総計	
4-3-7 取り上げて欲しいテーマ					
環境	1	0	0	1	6%
教育	3	0	0	3	17%
子育て	0	0	0	0	0%
介護	0	0	1	1	6%
地域活動	1	3	1	5	28%
防災	1	3	2	6	33%
その他	0	0	0	0	0%
未記入	0	0	2	2	11%
合計	6	6	6	18	100%

自由記入欄

- ・懇談会のPR不足で参加者不足。
- ・参加は有意義でした。他の町民の皆様にもこのような機会を持って欲しいと思います。
- ・人数を集めるには？
- ・人数が少ないのが残念です。
- ・柴田を愛する人が増えれば一緒に考えていきたい。
- ・若い人が参加しやすいといいなと思いました。
- ・フリートークング 町民から自由な質問を答え、各議員の個性・見識の理解可能な懇談会をお願いします。
- ・やり方を考えた方がよい。
- ・白内議員の活動は分かりやすいが、他の議員の活動は分かりにくい。

令和4年柴田町議会懇談会（町民と議会のワークショップ）アンケート

本日は、懇談会にご参加いただき、大変ありがとうございました。

今後の議会運営などに生かすため、ぜひ、アンケートにご協力をお願いいたします。

1 あなたのお住まいは？

- ①船岡小学校区 ②槻木小学校区 ③船迫小学校区
④東船岡小学校区 ⑤柴田小学校区 ⑥西住小学校区

2 あなたの性別は？

- ①女性 ②男性

3 あなたの年齢は？

- ①10代以下 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代以上

4 一般懇談会（町民と議会のワークショップ）について

(1) 参加のきっかけは？（主なもの1つ）

- ①チラシ ②お知らせ版 ③議会のホームページ
④議員の呼びかけ ⑥その他（ ）

(2) 今回で何回目の参加ですか？

- ①初めて ②2～3回 ③4回以上

(3) 本日の懇談会はいかがでしたか？ 悪かった場合、その理由もお願いします。

- ・ 今回のテーマ ①良い ②悪い（理由： ）
・ 開催曜日 ①良い ②悪い（理由： ）
・ 時間帯 ①良い ②悪い（理由： ）
・ 時間 ①長い ②ちょうど良い ③短い
・ 開催場所 ①良い ②悪い（理由： ）
・ 話し合い方法 ①良い ②悪い（理由： ）

(4) 今後、懇談会で取り上げてほしいテーマは？（主なもの1つ）

- ①環境 ②教育 ③子育て ④介護 ⑤地域活動 ⑥防災
⑦その他（ ）

5 その他、柴田町議会全般、このような懇談会についてご意見などがございましたら、お願いします。

懇談会終了後、受付のアンケート回収箱に入れてください。
ご協力ありがとうございました。



懇談会の様子

船岡会場
役場多目的ホール

令和04年10月22日撮影



懇談会の様子

船岡会場
役場多目的ホール

令和04年10月22日撮影



懇談会の様子

船岡会場
役場多目的ホール

令和04年10月22日撮影



懇談会の様子

船岡会場
役場多目的ホール

令和04年10月22日撮影



懇談会の様子

船迫会場
船迫公民館

令和04年10月22日撮影



懇談会の様子

船迫会場
船迫公民館

令和04年10月22日撮影



懇談会の様子

船迫会場
船迫公民館

令和04年10月22日撮影



懇談会の様子

船迫会場
船迫公民館

令和04年10月22日撮影



懇談会の様子

槻木会場
農村環境改善センター

令和04年10月22日撮影



懇談会の様子

槻木会場
農村環境改善センター

令和04年10月22日撮影



懇談会の様子

槻木会場
農村環境改善センター

令和04年10月22日撮影



懇談会の様子

槻木会場
農村環境改善センター

令和04年10月22日撮影

2 公開議員研修会

・開催日時 令和4年 10 月13(木)
14 時～15 時 30 分

・場 所 柴田町役場 多目的ホール

・参加者
町民 6名
議員 18名

事前申込み不要

どなたでも
参加できます！

公開議員研修会

まちづくりにおける スポーツの役割

仙台大学 副学長

まつもと ふみひろ

講師：松本 文弘氏

経歴：泉館山高校校長

宮城県教育委員会教育監兼教育次長 等



●とき：令和4年10月13日(木)
14:00~15:30

●ところ：柴田町役場4階多目的ホール

●参加費：無料

主催／柴田町議会

町議会では、町民と議会がともに学ぶ場として、「公開議員研修会」を開催しています。

今回は、「まちづくりにおけるスポーツの役割」をテーマに、将来のまちづくりなどにおけるスポーツ・運動の役割についてのお話を伺います。

令和6年12月に供用開始予定の（仮称）柴田町総合体育館完成を契機としたまちづくりの可能性を含め、年齢、性別、スポーツ・運動の得意・不得意に関わらず、みんなで柴田町のビジョンや皆さんが持つ夢の実現について考えてみませんか？

**議会懇談会にもぜひご参加
ください！！**

議会懇談会を、10月22日（土）に町内3会場で開催します。（開催日時及び会場等は、裏面をご覧ください。）

『スポーツを通して夢を語ろう！！』をテーマに、ワークショップ形式で懇談をします。

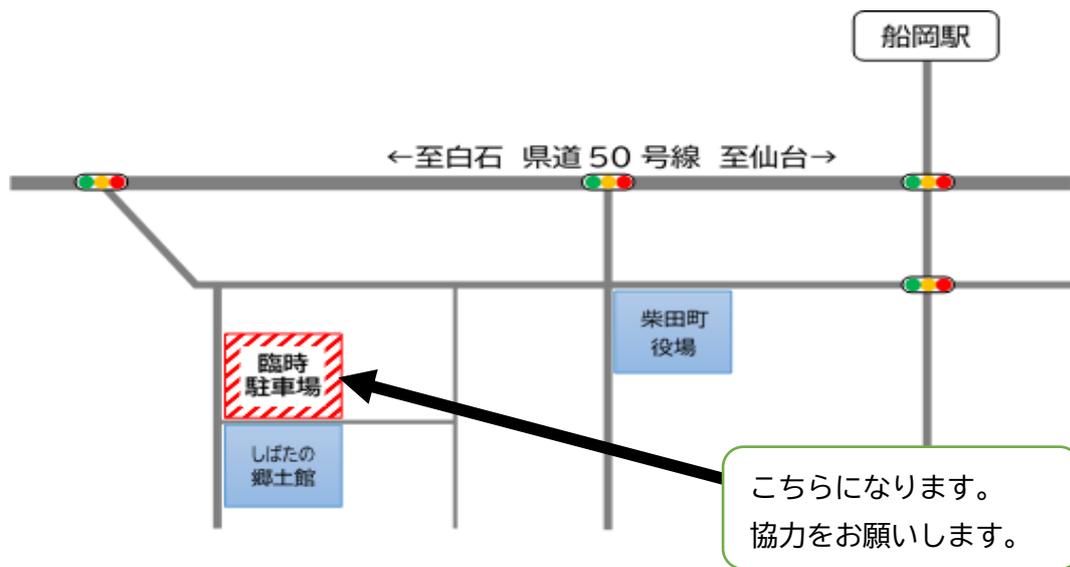
詳しくは、お知らせ版、町ホームページをご覧ください。

※当日は庁舎の駐車場整備工事中で、駐車場のスペースが制限されています。

自動車での利用の際は乗り合いでの来庁協力のほか、駐車場は図書館脇の臨時駐車場をご利用願います（裏面参照）。

連絡先：柴田町議会事務局 TEL 55-2136

公開議員研修会に伴う臨時駐車場



令和4年度柴田町議会懇談会
町民と議会のワークショップ
懇談テーマ「スポーツを通して夢を語ろう！！」

★日時：10月22日（土曜日）
○以下の3会場とも14時から15時30分

★会場

- 柴田町役場 4階多目的ホール
- 農村環境改善センター 1階 農事研修室
- 船迫公民館 1階 会議室

※どの会場でも参加できます。

★出席議員

- 柴田町役場 石森靖明 安藤義憲 佐久間光洋 秋本好則 平間奈緒美 高橋たい子
- 農村環境改善センター 大坂三男 森裕樹 加藤滋 桜場政行 吉田和夫 佐々木裕子
- 船迫公民館 白内恵美子 伊東潤 吉田清 小田部峰之 平間幸弘 広沢真

★当日の内容

- ①議会からの報告
- ②懇談「スポーツを通して夢を語ろう！！」及び「町政・議会全般」

※少人数のグループに分かれ、気軽に対話するワークショップ形式で行います。

令和4年度柴田町議会議員研修会

まちづくりにおける スポーツの役割

仙台大学 副学長

講師：松本 文弘 氏

日 時：令和 4年10月13日（木）

午後2時00分～午後3時30分

場 所：柴田町役場 4階 多目的ホール

《 次 第 》

- 14:00 開会（司会：白内 恵美子）
開会あいさつ（柴田町議会議長：高橋 たい子）
講師紹介
(60分) 講 演
(10分) 質疑応答
15:30 閉会あいさつ（議会懇談会実行委員長：石森 靖明）
閉会

主 催 柴田町議会

R4. 10. 13（木） 柴田町議会議員研修会

「まちづくりにおけるスポーツの役割」

参考人：仙台大学・松本文弘

1 松本の経歴（教員 18 年・教育行政 20 年・うちスポーツ担当 10 年）

S58～ 県立高校の教諭（数学を担当）

H7～10 スポーツ振興課・主事

H27～29 スポーツ健康課・課長

H30～R2 教育次長（スポーツ行政も担当）→ 退職

R3～ 仙台大学・副学長（大学運営担当）

2 国・県・町のスポーツ振興施策

区分	計画名	対象期間
国	第3期スポーツ基本計画	R4～R8
宮城県	宮城県スポーツ推進計画	H25～R4
柴田町	柴田町スポーツ推進計画	H28～R8

3 ライフ・ステージ別の取組

区分	取組	状況
子ども	親子遊び・少年団	親が忙しい
生徒・学生	部活動	部活動の地域移行
働く世代	土日・朝夕	自分が忙しい
シニア世代	毎日が日曜日	金も時間もある

4 関わり方・強弱による取組

区分	する	みる	ささえる
弱	趣味、歩く	テレビ観戦	たまに手伝い
中	生涯スポーツ	ライト・ファン	端役の関係者
強	競技スポーツ	コア・ファン	中心役員

5 スポーツ振興は誰がするのか

- ・ スポーツは本人の意欲によって行われる
- ・ 同じ気持ちの人が集まることで、新たなパワーが生まれる
- ・ 行政は、条件整備を行う

6 スポーツ振興が進まない理由 = 課題

- ・ スポーツする時間がない、気持ちになれない（疲れている・コロナ）
- ・ 地域の人が集まる機会が減少している（連帯意識の希薄化・コロナ）
- ・ 行政が、条件整備を怠っている？
（スポーツ施設の整備・意識啓発・イベント開催・町内会の支援など）

7 みんなが思っていること

- ・ 健康で長生きしたい（各個人） → 本能
- ・ みんなが健康・元気が一番（社会全体） → 集団的本能
- ・ 医療・介護経費の節減（国・自治体） → スポーツで健康寿命も延伸

仕事も元気に、遊びも元気に
子供も元気に、大人も元気に

は共通理念

8 部活動の地域移行

- ・ 休日の運動部活動を R5～R7 年度を目途に地域移行（文化部も）
- ・ 平日の部活動の地域移行は、休日の地域移行後の状況検証後に方針確定

9 町民体育館の建設

- ・ R4～5 設計、R5～R6 建設、R7～使用
- ・ 器の整備だけではスポーツ振興は果たされない。活用が肝

10 仙台大学の関わり

- ・ 地域の重要なスポーツ資源（ヒト・モノ・チエ）
- ・ 各種健康事業、スポーツイベント、地域移行後の部活動への参画

議員公開研修会



受付状況

令和04年10月13日撮影

議員公開研修会



議長挨拶

令和04年10月13日撮影

議員公開研修会



実行委委員長挨拶

令和04年10月13日撮影

議員公開研修会



講演風景 1

令和04年10月13日撮影

議員公開研修会



講演風景 2

令和04年10月13日撮影

議員公開研修会



講演風景 3

令和04年10月13日撮影

議員公開研修会



松本 講師

令和04年10月13日撮影

議員公開研修会



松本 講師

令和04年10月13日撮影

余 白

3 団 体 懇 談 会

- ・開催日時 総 務 令和4年 8 月2日(火)
10 時 15 分~16 時 15 分
文教厚生 令和4年 8 月3日(水)
13 時 30 分~15 時 30 分
産業建設 令和4年 8 月1日(月)
13 時~15 時
- ・場 所 総 務
各タクシー事業者事務所等
文教厚生
柴田町役場委員会室
産業建設
柴田町役場委員会室
- ・参加者 総 務
参加者4名・委員5名
文教厚生
参加者4名・委員6名
産業建設
参加者7名・委員6名

団体懇談会実施報告書

令和 4年 8月 5日

議会懇談会実行委員会委員長 殿

下記のとおり実施しましたので報告します。

〔 総務 〕 常任委員会委員長 平間幸弘

開催日時	令和4年 8月 2日 (火) 10時15分～16時15分	開催場所	<ul style="list-style-type: none"> ・柴田町役場 議会委員会室 ・槻木事務所 会議室 ・新盛堂タクシー 事務所
懇談団体	<ul style="list-style-type: none"> ・(有) 柴田観光タクシー ・新盛堂タクシー(有) ・柴田稲荷タクシー(有) 	参加者数	4人 観光1名、新盛堂1名、稲荷2名
参加議員	5名 平間幸弘、大坂三男、石森靖明、白内恵美子、平間奈緒美		
実施内容 (テーマ)	町内におけるタクシー事業の現状と課題について		
主な内容 (質疑・意見)	<p>(有) 柴田観光タクシー 10:15-11:00</p> <p>・タクシー業界全体でいえるが、ドライバーは年配者が多い。若者はほとんどいない。駅から乗車する人も少なくなっている。駅の利用者自体は、夕方に帰宅する人が増えた印象がある。(コロナの影響で、飲食せずにそのまま帰宅するからか??)</p> <p>Q 利用者は高齢者が多いのか? A ほとんどが買い物客で高齢者が多い。あとは槻木駅からのリコー関係で出張者の乗車が多々ある。</p> <p>また、これまで山間部に居住する高齢者はほぼ、デマンドタクシーを利用するようになったので、通常のタクシー利用者はいなくなった印象がある。</p> <p>Q タクシー業界の問題点は? A ドライバー不足。もし、雇用できる状態で採用をかけても今の待遇では成り手がいないと思われる。</p> <p>※利用者もタクシーを呼んでも待たされる→利用者の減→ますますドライバーの数が減る⇒タクシー業界が負のループに陥っている</p> <p>Q 電話で呼ばれても、対応できない場合は? A お得意様には待ってもらう旨を説明。それが難しい場合、断られることもある。</p>		

Q 巷では免許返納に伴って、タクシー利用で各種サービスがあるが、当該サービスを利用しての乗客は増えている印象はあるか（肌感覚でけっこう）？

A 肌感覚になるが月に、4人から5人くらいの利用があると感じている。

Q もし、新たに採用募集すれば人は集まると思うか？

A 雇用募集をかけても集まらないと思う。給料、賃金が格段に低い。

※昔は農業の閑散期に兼業でやっているドライバーもこの槻木地区にはいたが・・・。

Q 燃料高騰の話があるが、経営に影響はあるか？

A 燃料代、昨年よりやく1.5倍くらい高騰している。この分を運賃に上乗せできないので、なかなか厳しい状況。

Q コロナ関連の予防接種で町では高齢者の利用者にタクシーチケットを提供しているが、その利用状況は？

A 多少の利用はあったと思う。

Q タクシー利用者の増加のアイデアを何かもっているか？

A 乗りたいと思うときに乗れることを繰り返せば、必然的に利用者は増えると思うのだが、現状ではできていない状況。

Q 昔からのなじみのお客さんはいるのか？

A 電話で連絡がくるのはそういう人の方が多い。

Q 何時まで営業しているのか？

A 理想は最寄り駅の電車の最終時刻までが理想だが、現在は状況を見据えて、22時30分頃までになっている。

Q 地域に根差したタクシー会社になっていただきたい。

A ドライバーの数は少ないながらも、どうにか回せていければ・・・。

Q 中核病院への利用者はいるか？

A いるにはいるが、月、数えるほど。当社の場合は、岩沼方面の南東北病院や中山整形外科への利用者が多いような印象がある。

Q 町内で個人タクシーを新たに始めることはできないのか？

A 法律などの関係でできないのでは・・・？、ただし、会社であればできるはず。

Q 町では高齢者を対象にタクシー利用料金に対して助成の考えもあるようだが、その場合、歓迎するか??

A 利用者が増えるのであれば、歓迎する。

新盛堂タクシー(有)

13:00-14:10

・中核病院へのタクシー利用者の数

令和4年4月38回 5月40回 6月48回 ほとんどが決まった人が利用している。

・ダイシンまでデマンド、そこからタクシーで中核病院までの利用者もいるにはいる(数までは把握していない)

・タクシードライバー専属9名、デマンドドライバー専属2名+1名(タクシードライバーから融通)

・車両台数 現状8台(小型が6台、ジャンボタクシーが2台)

ジャンボタクシーのうち、1台を専属のデマンドで利用。もう1台は朝夕、「はらから」で送迎用として利用している。

Q デマンドタクシーの利用者で小型車とジャンボタクシーではどちらの利用が多いのか?

A 小型タクシーの方が多。毎日平均すると12~20人が利用する。ちなみに利用時間帯は圧倒的に午前中の利用が多く、午前8時台はほとんど利用がなく、午後3時以降はあまり利用者がいない。(利用者は圧倒的に高齢者であり、午前中の時間帯に用足しを済ませたい傾向にある)

Q 雇用者を増やす方向はあるか?

A 当社の場合は今のままでよいと思っている。町内において利用者を取りこぼしている(台数がなくて断っている)印象はないため。

車両台数についても、車両更新等の問題はあるが、現状で過不足なく運行している。

Q 病院など町外等への利用者について、一定の補助金を助成することも町では検討しているようだが・・・。

A 私的な意見となるが、何でもかんでも補助、補助とするのはどうか。現状の「はなみちゃんGO」でいいのではないか。補助するお金は公金なので、デマンドに充てるのではなく、防災等、他の施策に役立てるのも有りではないか。

Q デマンドタクシーを町が始めてから、かなり経過しているが、デマンドタクシー事業を商工会から受託している御社にとって、営業利益等はどうか?

A 確かに、当初のタクシー事業の営業利益は大幅に減った。それでも、幾分かの補助を町から支給してもらえた。今となつては、利用者にとっては評判もよく、実施し

てよかった事業といえる。

Q デマンドタクシー利用者から出される意見について気になる点は？

A デマンドの利用者からは、土曜・日曜、年末年始も運行してくれとの意見が出ている。しかし、この件だけは、タクシー事業とデマンド事業のすみ分けを考え、運行はしたくないと思っている。

Q 給料の体系は？

A タクシー事業とデマンド事業の体系は別になっている。雑多に言うと、タクシー事業者は基本給＋歩合給＋各種手当。デマンド事業は時給＋各種手当＋ α （交通費等）

Q 営業時間は？

A 夜は1時まで営業している。夜間は台数2台で回している状況。コロナ禍の影響もあり、これで大きな支障はない。ただし、コロナがおさまったとしても、生活スタイルの（飲食店での飲食の減）変化もあり、以前の状況には戻らないと思う。

Q 町への要望は？

A 燃料費が高騰している（1.5倍）、燃料費上昇分を考慮して補助金交付時に上乗せして欲しい。

事前質問について

Q 運転免許証返納によりタクシーを利用する町民は増えていますか（感覚的などころで構いません）

A 免許返納は微増で増えていると感ずる。障害者手帳の利用者も一定数いる状況。

Q 特に平日昼間、タクシーを利用する高齢者の行き先はどこが多いですか（病院、お店等）

A 病院、大型スーパー、駅（アイリス、リコー、ロケットセンター等の大型企業への出張で来町する人も多い）

Q 東船岡駅から、あるいは東船岡駅まで利用するお客さんはどれくらいいますか。

A ほとんどいない。

Q 持続的な経営をしていく上で、どのようなことが喫緊の課題として挙げられますか。

A ドライバーの高齢化が進んでいる、当社の平均年齢は64歳くらい。求人についても、各種方面で募集しているがなかなか人が集まらない。

最近1人56歳の人を雇用したが、当社では若い部類に入る。

Q 団塊の世代が後期高齢者となり、今後益々免許返納者の増加が見込まれます。タクシー会社として、返納者を顧客にするための対策をどのようにお考えですか？

A 特段、何も考えていない。

Q はなみちゃんGoの運転手が利用者から直接、何らかの要望などを受けたことはありますか。ある場合、どのような内容でしたか。

A 中核病院や南東北病院などの町外への延伸がたまに言われる。

Q はなみちゃんGoの運行会社の視点から、改善が必要と感じていることはありますか。

A 利用者は高齢者がほとんどなので、たまに、ジャンボタクシーへの乗り降り、ドアの開け閉め、荷物の運搬等手伝ってもらいたかったとの意見がある。当社でもドライバーには高齢者への気配り及び見守りに注視するよう教育している。

※角田市で中核病院への市外利用者の運賃を補助する制度を今年度取り入れたようだが、それほどの利用者はいないと聴いている。

事前に、デマンドでの中核病院への乗り入れの実証実験も実施したようだが、それほどの利用者はなかったので、利用者への運賃補助に切り替えた経緯あり。⇒本当に需要があるのかを確認する必要あり。

柴田稲荷タクシー(有)

14:55-16:15

・柴田での設立当時は25台所有で忙しく、深夜3時頃まで営業していた。現在は小型タクシー11台、ジャンボタクシー1台、ドライバー12名で営業している。

・当社では、クレジットカード払い、PAYPAY等の電子決済での支払いなどの技術も取り入れている（他の町内事業者は取り入れていないはず）

Q 中核病院へのタクシーでの乗り入れ件数は？

A はっきり把握はしていないが、1日1件にはならない。

Q 今後の課題は？

A ドライバーの確保が何よりである。タクシー業務は自由な時間と自分での裁量に委ねられる部分が多く、高齢者にも魅力的な職業と考える。ただし、2種免許取得のハードルが高いので、国として取得緩和の策を考えていただきたい。

Q 営業時間は？

A 6時から22時まで。ただし、19時台の船岡駅の上りの利用者の状況を見て、早めにドライバーを上げらせることもある。

Q タクシードライバーの忙しい時間帯は？

A 大きくみて3つの時間帯 7時から9時（企業の出張関係）、10時～12時（高齢者の病院への通院）、17時～19時（企業出張者の帰宅）。これ以外は閑散としている。

Q 運転手の確保策は？

A 常時、ハローワーク等を通じてしているが、なかなか集まらない状況。

Q 現在の課題は？

A 燃料代の高騰。ガソリンだけではなく、タクシー小型車の燃料であるLPガスも上昇している（約1.5倍）

※LPガスを燃料とする車両の利点は、エンジンに負担をかけずに長く利用できる、パワーはないけれども。

※現在の車種の主流であった「コンフォート」から新たなハイブリット型の「ジャパントクシー」に切り換えが首都圏で進んでいるが、車両価格も高いうえに、半導体不足で納車が1年近くなっている状況。

Q デマンドタクシーで中核病院等への乗り入れの要望はあるか？

A 確かに、戸口から戸口で、町外への移動手段であって、かつ、安価で済むならいいと答えると思うが、果たして本当に利用する人がいるかは疑問がある。「あればあるにこしたことはない」と考えるのが通常である。

Q ダイシンまでデマンド、ダイシンから中核病院まではタクシーといった手段を利用している人を把握しているか？

A 当社でそのように利用している人は2名いることを把握している。

Q その他、この機会なので何か私たちに伝えておきたいことは？

A クレジットカードでの支払いは手数料が3パーセント、各種スマホアプリ「GO」などの利用も手数料が数パーセント、いずれもタクシー業者で負担して、利用者の利便性に努めているところ。

都市部では上記アプリ等の利用で利用者は便利になり、老若男女タクシー需要も多い。柴田町のような地方では、まだ電話での連絡受付がほとんどで、かつタクシー予約するのが企業の出張者を除けば高齢者がほとんどであることを理解して欲しい。

事前質問について

Q 運転免許証返納によりタクシーを利用する町民は増えていますか（感覚的など

ころで構いません)

A 令和3年4月20回、5月9回、6月26回
令和4年4月37回、5月25回、6月25回 年々増えている状況。

Q 特に平日昼間、タクシーを利用する高齢者の行き先はどこが多いですか（病院、お店等）

A 中核病院や大型スーパー利用者が10時台で利用するのが多い。

Q 東船岡駅から、あるいは東船岡駅まで利用するお客さんはどれくらいいますか。

A いない。初めてアイリスに出張で訪れる人はネット情報等を頼りにくるのでこれまで何回か乗せたことはある。

Q 持続的な経営をしていく上で、どのようなことが喫緊の課題として挙げられますか。

A 先ほども述べた通り、スマホ等の発達により、利用者にもこれまでとは違った利用が増えているので、それに沿った営業も必要。ただし、スマホ等を利用できない、高齢者等を置き去りにするわけにもいかない。

Q 団塊の世代が後期高齢者となり、今後益々免許返納者の増加が見込まれます。タクシー会社として、返納者を顧客にするための対策をどのようにお考えですか？

A 特段、当社独自にサービスはしていない。協会で実施している免許返納者への利用料金の1割引ぐらい。ただし、この1割は国県から補てんされるわけではなく、会社それぞれの減収となることを理解して欲しい。

Q はなみちゃんGoの運転手が利用者から直接、何らかの要望などを受けたことはありますか。ある場合、どのような内容でしたか。

A おかげさまで、大きな苦情は受けていない。デマンドを始めてからずっと協力してきているので、その都度ごとに苦情を改善し、お客さんと信頼関係を築いていると自負している。

Q はなみちゃんGoの運行会社の視点から、改善が必要と感じていることはありますか。

A 当社の場合、ジャンボタクシーの代替が必要な時期で、中古車を探しているが、それに見合った車がなかなか出てこない。（オートステップやオートスライドの必要性がある）⇒新車だと480万円以上する??

※デマンド乗合タクシーでの町外病院利用については、大きな病気を患って、病院に行く者同士、本当に乗合いを利用していただくだろうか??

金額よりも気持ち的にどうかと思われる。利用者に寄り添った感情を考えると、実現可能になってもあまり利用者はいないのではないか??

※角田市で実証実験をした際は、それほど利用者がいなかったのはこの点にも理由があるのでは??

後日、委員会で出た意見等々

(8月3日9:20~11:20)

※デマンドタクシー事業について

- ・概ね、事業者からは大きな不満はなく、順調に事業を展開している。
- ・継続的な運営をしていくためには、従業員の確保が重要であり、処遇改善的な意味合い分を補助金に加えることも必要と思われる。
- ・実施主体である、商工会に対しての補助金の算定時には、①昨今の燃料費の上昇分、②ジャンボタクシーの車両更新時には、高齢者が主として利用していることから、オートステップ・オートスライド設置経費分も考慮した算定にしていきたい。
⇒現在の補助金算定については、事業者が要した総額経費から運賃収入等を控除した金額を、商工会への補助金として交付すると思われるが、当該総額経費に上記①、②が算定考慮されているか、所管事務調査時に確認する必要有り。
- ・利用者の利用時間帯については午前中に集中し、午後は閑散としている状況にある。午後の利用者も増やせる何らかのサービスについても商工会と一緒に検討すべき。
- ・これまで、度々、議会でも議論されてきた、デマンドバスを利用した町外病院への延伸については、今回の団体懇談会の聴き取りを参考にしたうえで、委員会内での議論では、利用者目線で考えた場合、デマンドバスの利用は、大きな病気を患ったうえで、町外の病院への移動手段を考えた際、「乗合い」での移動は心情的に利用を控える傾向にあると想像できる。
委員会では、この点を重視したうえで町外病院への移動手段については、デマンドタクシーではなく通常のタクシー利用が望ましいという意見でまとまる。
なお、通常のタクシー利用の際は、デマンドタクシーの利用料に比して明らかに高額になることから、上限を設けた上で利用料の一部を補助する行政サービスを検討してはどうか。なお、その際には移動する目的地を限定し、かつ理由を明確にする必要がある。

※タクシー事業全般について

	<ul style="list-style-type: none">・町内のタクシー事業にあつては、地域の生活交通の維持・確保の面からも重要であることを再認識した。 ・事業者によっては雇用したくても、人が集まらない状況にあり、かつ乗務員の高齢化が進み、将来的には事業の継続にも影響を及ぼす可能性がある。継続的な運営をしてもらうためにも、事業者の意見・要望を聴く機会を設け、行政としてできる支援をその都度検討する。 ・意見の聴取り手法については、事業者を一堂に会す手法だけではなく、時間や手間はかかるが、個別ごとに意見を聴く手法も検討して欲しい。
--	--



総務常任委員会団体懇談会

令和04年 8月 2日撮影



総務常任委員会団体懇談会

新盛堂タクシー
新盛堂タクシー事務所にて

令和04年 8月 2日撮影



総務常任委員会団体懇談会

稲荷タクシー
委員会室にて
その1

令和04年 8月 2日撮影



総務常任委員会団体懇談会

稲荷タクシー
委員会室にて
その2

令和04年 8月 2日撮影

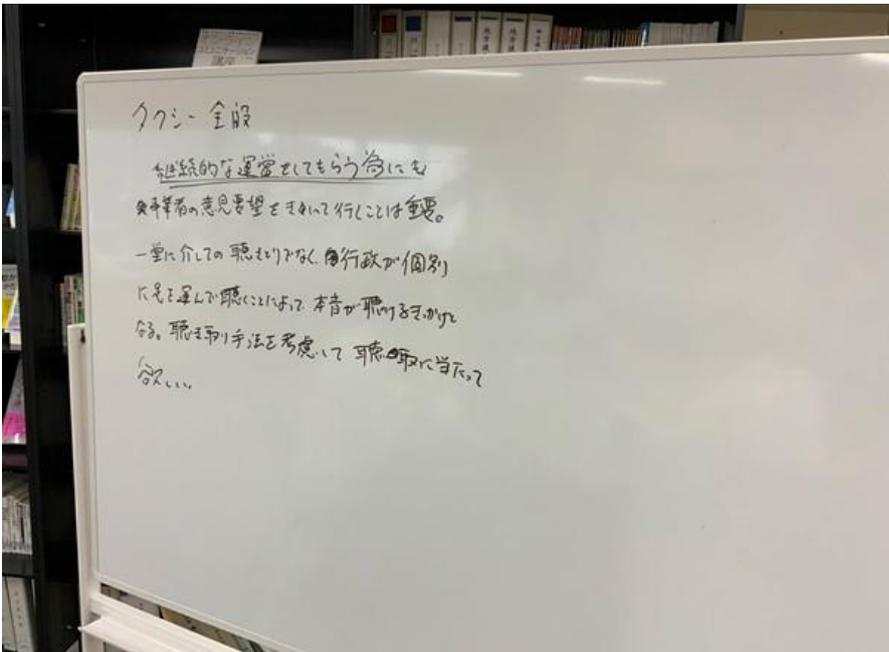


総務常任委員会団体懇談会

稲荷タクシー
委員会室にて
その3

タクシーのスマホ
アプリの確認

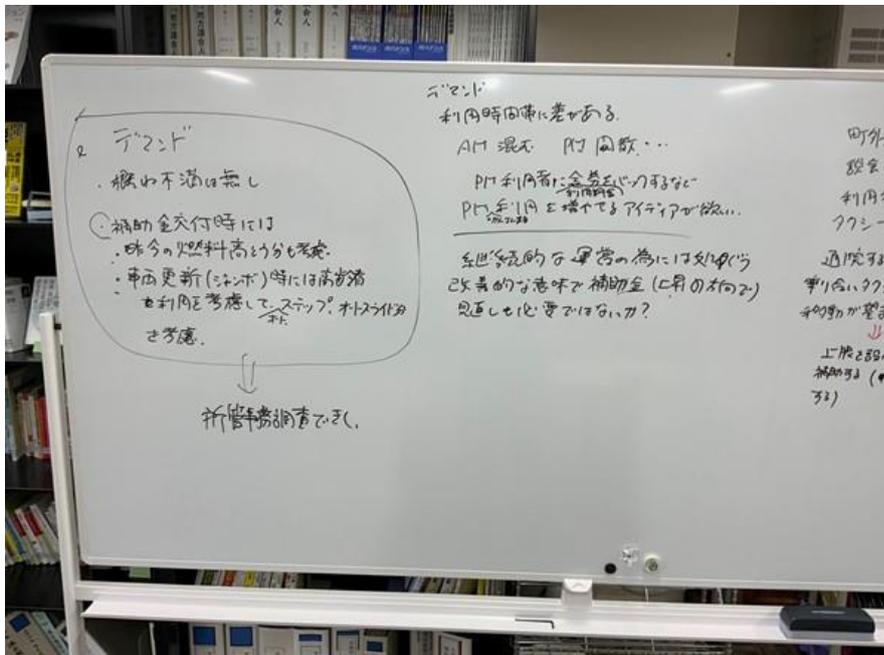
令和04年 8月 2日撮影



総務常任委員会団体懇談会

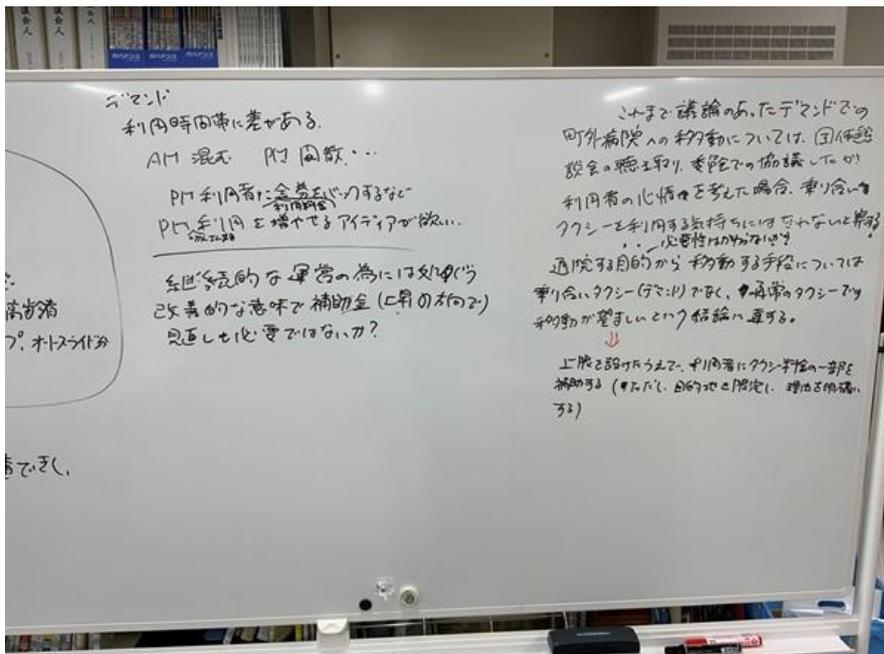
まとめ
議員控室にて
その1

令和04年 8月 3日撮影



まとめ
議員控室にて
その2

令和04年 8月 3日撮影



まとめ
議員控室にて
その3

令和04年 8月 3日撮影

余 白

団体懇談会実施報告書

令和4年8月5日

議会懇談会実行委員会委員長 殿

下記のとおり実施しましたので報告します。

文教厚生常任委員会委員長 桜場 政行

開催日時	令和4年8月3日(水) 13:30~15:30	開催場所	議会委員会室
懇談団体	柴田町校長会(中学校のみ) ※オブザーバーとして教育長	参加者数	4名
参加議員	6名		
実施内容 (懇談テーマ)	1 生徒が通学する際の危険箇所について 2 働き方改革にどのように取り組んでいるか 3 その他町に求めるもの		
主な内容 (質疑・意見)	1 生徒が通学する際の危険箇所について 1) 各学校における危険だと思われる箇所は？ 【槻木中学校】 ・JR千間掘踏切(県営住宅手前)前後の5差路 ・雨が上がりやすい柴田小学校付近 【船岡中学校】 ※危険マップ作成している。地区生徒会からの情報を得て、担当が確認。 ・学校前の道路は、スピードを出す車が多い。 ・県道114号線のヨークベニマル柴田店からさくら船岡大橋にかけては、交通量が多い。 ・前項の抜け道になっている東側十字路(緑のカラー舗装)要注意。 ・中名生地区の農道橋は自転車を降りて通行する事。 ・神次郎方面の跨線橋の工事で歩道が狭くなっている。 ・水害による危険な地区として東船岡地区。 【船迫中学校】 ・学校近くにはスクールガードが立っており安全を確保している。 ・東船迫の交差点に新しく信号がついた。 ・バイパス沿いを自転車で通行するときは必ずヘルメット着用。 ・船迫3、4丁目は土砂崩れの危険。 ・水害時、車の避難をお願いされる。 ・イオン船岡店からダイソーへの地下道、落書きなどで嫌な生徒がいる。 2) 危険箇所はどのように把握していますか。また、その改善はどのようにしていま		

すか。

【槻木中学校】

- ・生徒、保護者、区長からの情報。教育委員会へ連絡している。
- ・町道槻木158号線（稲荷山用水路沿いの町道）、朝は一方通行となるが、逆走する車を見かけたら警察に通報する。

【船岡中学校】

- ・危険マップで確認する。
- ・教職員が安全確認のため巡視。（毎日実施）
- ・見守り隊から学校へ連絡。例えば、建物の倒壊の恐れあり。
- ・水害についてハザードマップを確認している。

【船迫中学校】

- ・水害はハザードマップを利用。マイタイムラインを生徒一人ひとりが作成し、親に見てもらい（はんこを押す）学校へ提出している。
- ・先生と民生委員が話し合っている。危ない事はすぐ学校へ。
- ・夏休みに入り、イオンのゲームセンター、三角公園（西船迫公園）などを先生で巡視している。
- ・学校前の歩道に車止めがある。自転車がぶつかり倒れてケガしている。撤去できないか。

3) 自転車通学を許可する際、自転車の保険加入や整備状態の確認は。その後定期的な確認・点検などは行っているか。

【槻木中学校】

- ・保険加入を確認し許可している。年度ごとに保険の確認。

【船岡中学校】

- ・自転車通学117名（25%）許可している。自転車通学規定により、防犯登録、ヘルメット、保険加入などで申請してもらう。
- ・1年毎に再確認している。

【船迫中学校】

- ・4月に自転車通学を申請してもらい許可している。チェック欄を設けたい。

2 働き方改革にどのように取り組んでいるか

【槻木中学校】

- ・ガイドラインに沿って取り組んでいる。
- ・不要な会議は開催しない。（～45分程度）ほとんど打合せ程度で済む。
- ・子どものためと思うと長くなる。
- ・部活動が終わったら帰れるように工夫している。
- ・横の連絡を大切にしている。
- ・遅くまで残ることが当たり前の人もいる。意識を変えてもらうように、やる気スイッチのタイミングがゆっくりの人も。

- ・朝の打合せはなしにした。
- ・校務処理システムや電子化はとても有効、効率化が図られている。スピードアップ。

【船岡中学校】

- ・電子化には助かっている。会議の時間短縮、書類はタブレットに置いて、60分。
- ・留守番電話機能はとても有効、効果的。負担が減った。
- ・部活動の地域移行の課題
- ・5月は大会があるので超過勤務が多い。18時15分部活終了 18時30分完全下校それから次の日の準備、20時ころまでかかる。
- ・4月で53時間 5月で62時間、6月62時間、80時間超え6人いる。
- ・面接で改善個別対応している。
- ・教育課程の再編成
- ・5時間授業で部活2時間やって17時下校
- ・6時間授業の日は部活なしなど工夫
- ・フレキシブルな編成を試している。反対意見、賛成意見ある。
- ・部活についてはしっかり指導、教員に負担感の場合もある。
- ・働き方改革の根本は部活動にあるが、やりがいでもあり改革の難しい部分。

【船迫中学校】

- ・改革は進んでない。20時、21時になることもある。
- ・早く帰ってもらおうと、次の日5時6時ころ出勤。
- ・会議は60分 チームで話まとめておいて変更点のみの認識共有にするなど短縮する工夫。
- ・定時帰宅にすると、かえってストレスになるようだ。逆効果。
- ・部活指導員3名、特別指導員3名、助かっている。
- ・コロナ対応で1名派遣いただいている、助かっている。
- ・補助員さんも大いに活躍いただいている。
- ・担当を工夫したら勤務時間短くなった。
- ・部活動2人体制にしてみたが結果難しい。
- ・作業が遅いわけではない。まじめな先生の愛で支えられている。

3 その他町に求めるもの

【槻木中学校】

- ・教員人生、このように要望を聞いてもらったのは初めて。
- ・町のサポートには感謝しかない。

【船岡中学校】

- ・環境は良くなったが、強いて言えば野球とソフト場も整備お願いしたい。
- ・不登校30日以上65人、教室以外の居場所を確保している。その際、町からの支援でのソーシャルワーカーと子ども家庭課の対応、感謝している。

【船迫中学校】

- ・要望はない。施設支援は助かっている。恵まれた施設。
- ・ソフトボール部はないが大会会場に。
- ・剣道場にエアコンあるので大会会場に。
- ・特別支援員さんの支え、不登校生徒対応助かっている。
- ・不登校の生徒は、幼児教育から問題がある事例がある。3歳児検診で障害発見されれば、親の意識が変わると思う。発達障害の検診の充実が必要ではないか。
- ・各校長の横のつながりが密なので柴田町としての動きが出来る。足並みを揃えて実施できる安心感がある。

4 その他

(1) PTA活動について

【槻木中学校】

- ・PTAの集まりは19時頃からはじまるので残業になるが、早く帰る日を設けている。
- ・本部会議の開催は減らしている。紙面開催もある。

【船岡中学校】

- ・コロナで開催回数は減らしている。
- ・今年復活したのは、校庭の除草作業。
- ・PTAは少人数で対応している。

【船迫中学校】

- ・会議は19時から始まるが21時までかかることはない。
- ・PTA役員会の回数は減っている。
- ・会報も少ない。
- ・除草作業は回数を減らしている。

(2) 2学期制を導入して

【槻木中学校】

- ・2学期制は時間的にゆとりができた。
- ・修学旅行7月に実施できた。3学期であれば、この時期に実施することはできなかった。
- ・ゆとりができたことで、生徒会主体のイベントを許可した。

【船岡中学校】

- ・2学期制はうまくいっている、合っている。負担感少ない。7月に余裕ができる。
- ・大会しやすくなった。

【船迫中学校】

- ・2学期制のメリットは沢山ある。
- ・通信表にかかる負担減

	<p>・7月に感動の合唱コンクール実施。</p> <p>(3) 学校司書の活用</p> <p>【槻木中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書、とても助かっている。職員の負担が激減。 ・本を紹介し <p>【船岡中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒からも好評。図書館の利用増えた。 ・図書室で会議を行うことがある。他校の先生からは、あまりにもキレイで写真を撮っていてもいいかという事もあった。 <p>【船迫中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書司書の配置により本の整理整頓と勉強できる環境が出来、利用が増えた。 ・土日の学習会では、パーティションを手作りしてくれ、環境を整えてくれた。 <p>5 教育長からひと言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書の話が出たが、昨年、読書感想文コンクールでは、2市7町から1500点を超える作品のうち5名が県大会に選ばれるが、柴田町は各中学校から1名ずつ選ばれた。子どもたちの頑張り素晴らしいと思っている。 ・校長先生方とスクラムを組んで、一枚岩を合言葉に取り組んでいきたい。
ま と め	<p>※懇談会終了後、まとめを行った。 15:45~16:35</p> <p>1 生徒が通学する際の危険箇所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者や生徒、行政区長等からの情報を基に危険箇所の把握をしている。その対応については、教育委員会に連絡し改善につなげている。 <p>2 働き方改革にどのように取り組んでいるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれの学校では、校務処理システムの導入、会議時間の短縮や見直し、留守番電話機能の導入により効率化が図られている。 ○ 一方、部活動については、時間外勤務の多くは部活動によるものであるが、課題が多く、今後、十分に検討する必要がある。 <p>3 その他町に求めるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特にはなかったが、各校長先生からは、学校施設・設備面では充実しており、恵まれた環境で感謝しているとの言葉をいただいた。 <p>《今後、委員会で調査するもの》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船迫中学校周辺の歩道に設置されている、コンクリート製の車止めについて



文教厚生常任委員会
 団体懇談会
 No.1
 DSC_1164

開会
 司会進行:伊東委員

令和04年 8月 3日撮影



文教厚生常任委員会
 団体懇談会
 No.2
 DSC_1165

開会の挨拶
 桜場委員長

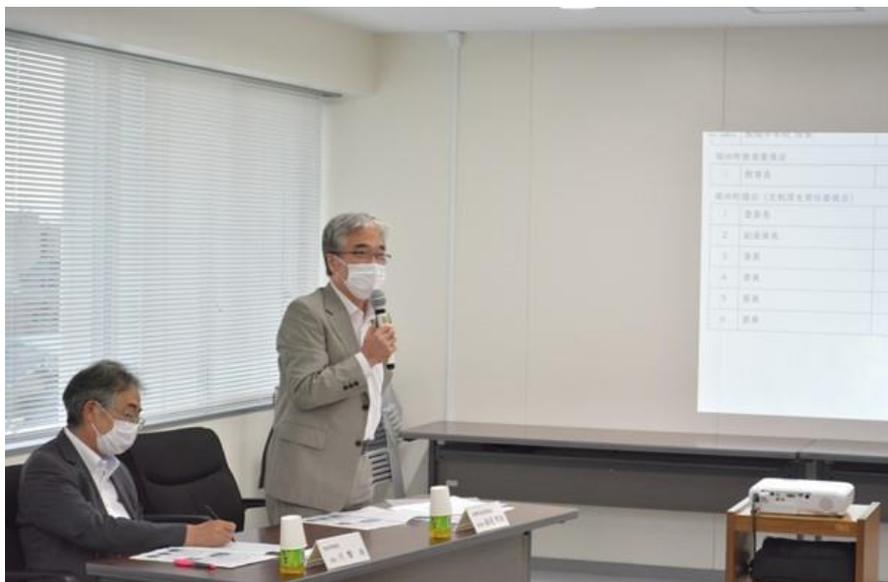
令和04年 8月 3日撮影



文教厚生常任委員会
 団体懇談会
 No.3
 DSC_1168

柴田町議会活動報告
 担当:桜場委員長

令和04年 8月 3日撮影



文教厚生常任委員会

団体懇談会

No.4

DSC_1169

自己紹介

船迫教育長

令和04年 8月 3日撮影



文教厚生常任委員会

団体懇談会

No.5

DSC_1171

自己紹介

槻木中学校

川田校長

令和04年 8月 3日撮影



文教厚生常任委員会

団体懇談会

No.6

DSC_1172

自己紹介

船岡中学校

中校長

令和04年 8月 3日撮影



文教厚生常任委員会

団体懇談会

No.7

DSC_1173

自己紹介

船迫中学校

三浦校長

令和04年 8月 3日撮影



文教厚生常任委員会

団体懇談会

No.8

DSC_1175

懇談

担当:吉田委員

令和04年 8月 3日撮影



文教厚生常任委員会

団体懇談会

No.9

DSC_1176

懇談風景①

令和04年 8月 3日撮影



文教厚生常任委員会

団体懇談会

No.10

DSC_1179

懇談風景②

令和04年 8月 3日撮影



文教厚生常任委員会

団体懇談会

No.11

DSC_1181

懇談風景③

令和04年 8月 3日撮影



文教厚生常任委員会

団体懇談会

No.12

DSC_1184

懇談風景③

危険箇所を説明する
三浦校長

令和04年 8月 3日撮影



文教厚生常任委員会

団体懇談会

No.13

DSC_1200

閉会の挨拶

佐々木副委員長

令和04年 8月 3日撮影

余 白

余 白

団体懇談会実施報告書

令和4年8月 5日

議会懇談会実行委員会委員長 殿

下記のとおり実施しましたので報告します。

〔産業建設常任〕委員会委員長 秋本好則

開催日時	令和4年8月1日(月) 午後1時半～午後3時	開催場所	議会委員会室
懇談団体	柴田町上下水道組合	参加者数	組合 6人 町職員1人(オブザーバー参加) 議会 8人(議員6人、職員2人) 合計15人
参加議員	秋本好則、安藤義憲、吉田 清、森 裕樹、佐久間光洋、広沢 真		
実施内容 (テーマ)	(1) 上下水道業界を取り巻く社会環境について (2) 現状の課題と将来の展望について (3) 県施行の「みやぎ型管理運営方式」について (4) 町への要望など		
主な内容 (質疑・意見)	上記のテーマについて、(株)登勇管工設備の村上氏が事前に資料を用意してくれたため、当日委員に配布する。内容は別紙のとおり。 【(1)(2)のテーマについて】 慢性的な人手不足と材料費の高騰が挙げられる。 人手不足については、休日を思うようにとれないことが大きい。週休2日制ではないため、若者や子育て世代が募集をかけても集まらない。人が集まらないため、3社ぐらい集まらないと実際の工事が始められないこともある。そのため離職率が高くなり、結果として業界の高齢化が進んでいる。 現在、大河原商業高校と柴田農林高校の統合建設工事が進められているが、その建設事業が週休2日試行工事となっている。 材料費の高騰については、新型コロナウイルス感染症拡大による材料の納品の遅れや、円安等の影響が大きい。 Q機械化はできないのか?女性でも重機を扱ったり、鉄筋工の方もいるが。 A地上の部分はできても、中の部分的なことは手掘りが必要になってくるので難しい。壊れている水道管の場合、土留めも必要になるため更に難しくなる。 Q高校卒業と同時に入社する社員は、有資格者で入ってくるのか。 A高校卒業だけでは資格はとれないため、会社で取得のための補助を行う。国でも7割負担する制度がある。10年位働くと大体の資格を持つことができる。だが実際は経験を積まないと本管を扱う作業は厳しい。		

また、仕事自体に魅力を感じることができなくて辞める人も多い。水道業者は建築業者の下請け会社だと一般の方は思っている。

Q水道業は目に見えない仕事。小中学校の職業体験に取り入れてはどうか。

Aいいと思う。

Q（週休2日の実現）や（建設労働者の給与確保）が人手不足に対する対策だと記載してあるが、それを叶えるために町としてはどのように対応すべきか。

A週休2日制については、工事発注時にその点を考慮した工事額や工期で行ってもらいたい。町が我々を優先して工事を発注してくれることはとてもありがたい。給与確保については、技術職の育成を斡旋するような政策を施してもらいたい。

Q漏水しても、救済措置がない。事前に分かる方法はないのか？

A事前には分からない。

下水道がその家に入っていれば、下水道料金は免除になるが水道料金自体は免除にならない。大河原町ではどちらも免除になっている。

最近、漏水の修繕依頼が多い。水道管の耐用年数が大体30年から40年なので、寿命を迎えている。漏水しても、宅地内にある水道管はその家で修繕費を負担しなくてはならない。水道料金が免除になればありがたいと思う。

あとは漏水が多い原因のもう一つとして、柴田町の配水管の水圧が高いことも考えられる。町の対策、調査を望む。

Q災害後、水道の元栓を閉めてもメーターが回っている場合があるがすぐに漏水箇所は分かるのか。また、その確認作業は有効か。周知も必要では。

A漏水箇所はすぐ分からないが、確認作業は行ったほうが良いと思う。周知もしてほしい。

【(3)のテーマについて】

基本的には宮城方式と変わらないと思われる。水の使用量が減っているため、受水料金に影響が及ぶのは仕方ないと思う。

Q今回の宮城型管理運営方式のように、PPP・PFIの手法が増えてきているが。

A町の事情もあり、世の中の流れがそういうことになっているので理解はしている。

【(4)のテーマについて】

・柴田町水道お客様センターについて

①給水装置工事・排水設備工事の申請及び完成書受付の許可日数の短縮

⇒お客様センターで念入りにチェックを受けた書類を、上下水道課でまたチェックしていることが日数を短縮できない原因ではないか。上下水道課にて確認を行うのであれば、お客様センターは書類の受付のみにしてほしい。

②工事立会い予約について

⇒給水・下水管取出・分水止め工事の立会いについて、他の市町村では職員1人だけで対応しているのに、柴田町では職員2、3人で立会っている。亘理町では写真のみで立会いは行わないし、土日も対応している。職員を複数人集める必要はないのでは。

・有事の際の対応について

年に数回、行政と業者が話し合う機会を設けてほしい。そうすれば災害時の対応や、配水管の圧力の件など、問題を共有することができる。今後もこのような機会を増やして、もっと私達の声に耳を傾けていただきたい。

○まとめ【懇談会終了後、同室にて】

懇談の中で気付いた点

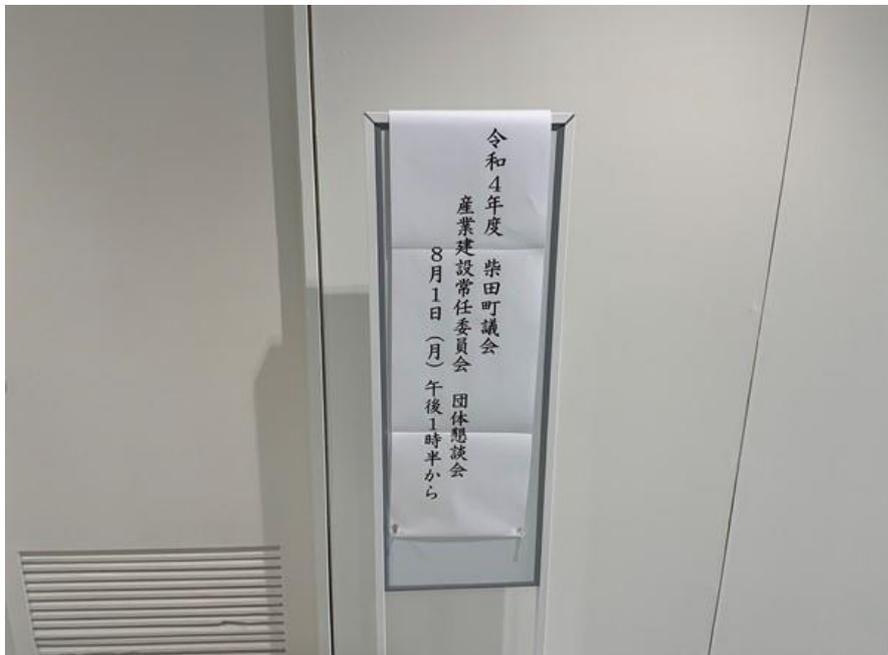
- ・水道事業は目に見えない仕事であることから、東日本大震災後、自衛隊の求人倍率が上がったように、もっと水道業をPRしていくことが必要では。
- ・災害時、宅内の水道管が破損しても罹災証明書は発行されないため、被災者生活再建支援制度の対象にならず、修理費用は自己負担となってしまう。町として修理費用を減免する政策が必要では。
- ・宅内での漏水の場合、下水道が埋設されていれば下水道料金は減免となるが、水道料金は減免とはならない。高額になった場合の救済措置があったほうがいいのでは。

今後の委員会で調査していくことや一般質問で取り上げること

- ・町内の配水管の水圧の高さについて、現地調査が必要。
- ・柴田町水道お客様センターへの業務委託については、詳細な委託内容や業務手順を確認する。

その他、次回の日程について

- ・10月12日（水）、宮城県富谷市の富谷宿観光交流ステーション「とみやど」へ地方創生拠点整備交付金を活用して「とみやど」を整備した背景や、現在の利用状況などを視察予定。



産業建設常任委員会
団体懇談会
1. 会場看板

令和04年 8月1日撮影



産業建設常任委員会
団体懇談会
2. 開会あいさつ

令和04年 8月1日撮影



産業建設常任委員会
団体懇談会
3. 議会の取組について説明

令和04年 8月1日撮影



産業建設常任委員会
団体懇談会
4. 出席者紹介①

令和04年 8月1日撮影



産業建設常任委員会
団体懇談会
5. 出席者紹介②

令和04年 8月1日撮影



産業建設常任委員会
団体懇談会
6. 懇談の様子①

令和04年 8月1日撮影



産業建設常任委員会
団体懇談会
7. 懇談の様子②

令和04年 8月1日撮影



産業建設常任委員会
団体懇談会
8. 懇談の様子③

令和04年 8月1日撮影



産業建設常任委員会
団体懇談会
9. 懇談の様子④

令和04年 8月1日撮影



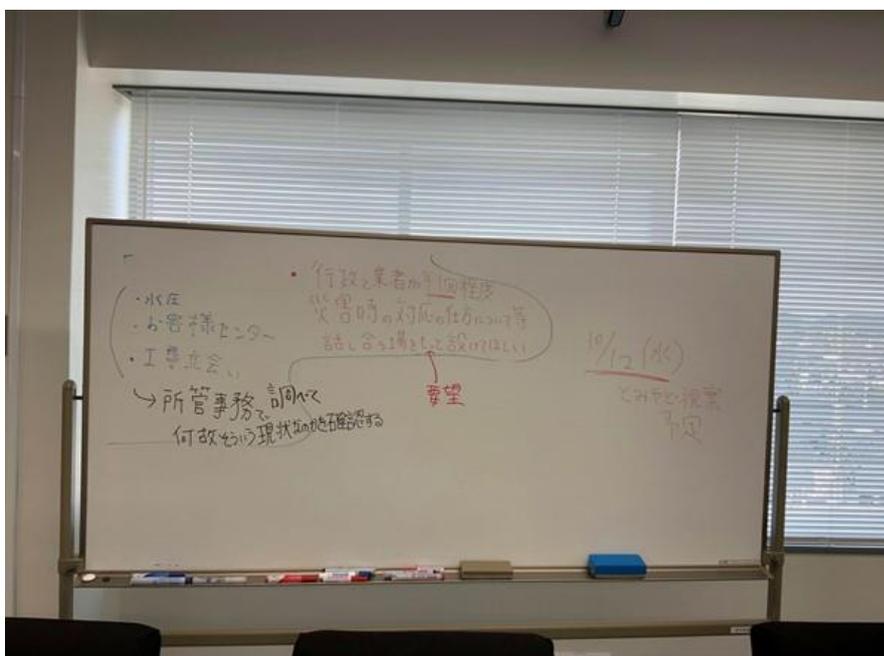
産業建設常任委員会
団体懇談会
10. 懇談の様子⑤

令和04年 8月1日撮影



産業建設常任委員会
団体懇談会
11. 閉会あいさつ

令和04年 8月1日撮影



産業建設常任委員会
団体懇談会
12. まとめ作業後

令和04年 8月1日撮影

4 柴田高校との懇談会

・開催日時 令和4年7月22日(金)
14時～16時

・場 所 柴田高等学校 会議室

・参加者
高校生 9名
役場職員 9名
議 員 4名

令和4年度柴田高校生徒会及び柴田町役場若手職員との 議会懇談会開催要領

(1)開催日時及び会場

開催日時	団体名	開催会場
令和4年7月22日(金) 14:00~15:15	・柴田高校生徒会 ・柴田町役場(若手)職員	柴田高校会議室

(2)懇談会の目的・ねらい

(高校生側のねらい)

- ①普段接する機会がない議員と同じ目線で意見交換をすることで、議会を身近に感じ、議会・政治への興味関心を持ってもらう。
- ③地域の課題について考える機会を持ち、あらためて自分の住む地域への興味関心を持ってもらう。

②町議会だよりなどを活用して、柴田高校を PR するための情報発信をする。

(役場職員のねらい)

- ①普段業務で接する機会が少ない議員と同じ目線で意見交換をすることで、議会を身近に感じ、議会・政治への興味関心を持ってもらう。
- ②年代関係なく職員と議会とのコミュニケーションを充実させ、互いの信頼関係を構築することで、より良い町政運営に結び付ける。

(議会側のねらい)

- ①次世代を担っていく現役の高校生や若手職員から普段感じていることを聞くことで、今後の地域課題や地域資源を洗い出す。
- ②若い世代に、議会・町政への興味関心を持ってもらい、外部からの声や意見を町政運営に反映させる。

(3)懇談会の内容

・密となることを避け、生徒、職員及び実行委員を4グループに分けて実施する。

・それぞれのグループごとに、「住み続けたいまちって・・・？」として、

『①みなさんにとって住みやすいまちとは・・・？ 20年後、自分が住んでいるまちはどんなまちになっていて欲しいでしょうか・・・？』

『②そんな20年後を実現するために、今取り組まなければならない一歩は何でしょうか。大人に応援してもらいたいことは何でしょうか？私たち大人が応援できることは何でしょうか？』

などをざっくばらんに話してもらう。

(グループ同士で初対面の人どうしのぎこちない雰囲気を和ませるため、自己紹介的なことを含めたアイスブレイク行っただうえで、実際の懇談を行う)

(4)役割分担等

- 1)司会者等は実行委員から選任する。

役割	担当者名	役割	担当者名
代表者 懇談会実行委員長	石森靖明 議員	ファシリテータ 兼 司会者	桜場政行 議員

記 録	グループごとの 委員	庶 務	事務局(太田)
-----	---------------	-----	---------

2)懇談は、ワークショップとする。

① 各班に議員、高校生、若手職員が必ず入る。

② 議員は、高校生・若手職員が発言しやすいように工夫するとともに、反論するような発言をしてはならない。議員のルールは、「説教しない」・「納得させない」・「同意を求めない」の3つである。

[担当班名簿]

班 名	議 員	高校生	若手職員	合計
1 班	石森 議員	3 人	2 人	6 人
2 班	小田部 議員	2 人	2 人	5 人
3 班	平間 議員	2 人	2 人	5 人
4 班	吉田 議員	2 人	3 人	6 人
計	4人	9 人	9 人	22 人

(5)開催当日の日程(予定)

13:45 実行委員集合・準備(机いす・放送機器・看板等)
14:00-15:15 議会懇談会 司会 (ファシリテータ)
(次第)
1 開会あいさつ(副議長)
2 懇談(ワークショップ)
3 閉会あいさつ(実行委員長)
15:15-15:30 かたづけ

(6)議会懇談会の進行

区 分	時 間	担当者
開会あいさつ	2 分	副議長
導入(アイスブレイク)・ ワークショップの進め方説明	10 分	ファシリテータ
懇談(テーマ①)	15 分	各議員
予備時間(休憩)	2 分	
懇談(テーマ②)	15 分	各議員
予備時間(休憩)	2 分	
グループ別発表での情報共有、感想発表	22 分	グループ発表(4G×5分) 生徒・職員感想(1名ずつ)
閉会あいさつ	2 分	懇談会実行委員長

(7)準備物(予定)

品名	数	備考
ホワイトボード・マーカー	1式	柴田高校備品があれば借用
机	1式	島を4つ作成(1つのテーブル5人~6人)するほか、ファシリテータ席が必要
イス	30脚	柴田高校
放送機器	1式	総務課より借用
模造紙	5枚	事務局(予備を含めて)

紅白テーブルクロス	5 枚	事務局(予備を含めて)
プロッキー(8色)	5セット	事務局(予備を含めて)
参加者名札(高校生を除く)	14 枚	事務局(議員と参加職員の名簿を作成)
カメラ・タブレット	1 台	事務局
A4用紙・付箋・マグネット	適宜	事務局
お茶等・菓子等	適量	事務局 (議員厚生費より支出)

参加議員

- ・石森 靖明(実行委員) ・小田部 峰之(実行委員) ・桜場 政行(実行委員)
- ・平間 奈緒美(副議長) ・吉田 清(応援議員) 以上5名

※実行委員である、大坂委員については仙南広域事務組合の会議、安藤委員については後期高齢広域連合の会議、白内議員については家庭の事情により欠席のため。

令和4年度 柴田町議会懇談会

柴田高校生徒会・町役場職員との 議会ワークショップ

日 時：令和4年7月22日（金）

午後2時～

場 所：柴田高等学校 会議室

《 次 第 》

- 14 : 00 ・開会（司会：桜場 政行）
- ・開会あいさつ（柴田町議会副議長：平間 奈緒美）
 - ・グループ内での自己紹介等（アイスブレイク）
 - ・懇談（「住み続けたいまち」って…？）
『15分×2ラウンド』
 - ・各グループからの発表（情報共有）
 - ・生徒会・職員からの感想
 - ・閉会あいさつ（議会懇談会実行委員長：石森 靖明）
- 15 : 15 ・閉会

主 催 柴田町議会
協 力 柴田高等学校

「住み続けたいまち」って…？

●①みなさんにとって住みやすいまちとは…？

20年後、自分が住んでいるまちはどんなまちになっていて欲しいでしょうか…？

●②そんな20年後を実現するために、今、取り組まなければならない一歩は…？

大人に応援してもらいたいことは…？ 大人が応援できることは何でしょうか…？

名前
学生(時代)のあだ名

GOOD&NEW

24時間以内に起こった楽しかった
ことうれしかったこと、新たに発見し
たこと

この夏(休み)、やってみようと
ひそかに思っていることは

実はこう見えて、
「私、〇〇なんです。」

要点記録用紙

(グループ内で出された意見をわかりやすく)

Aグループ 議員名: 石森 靖明

「住み続けたいまち」って…?

■テーマ①

『みなさんにとって住みやすいまちとは…?』

『20年後、自分が住んでいるまちはどんなまちになっていて欲しいでしょうか…?』

- ・交通の利便性が良いまち
- ・テクノロジーの発達で、自動運転などにより交通が便利になるといい
- ・自転車専用レーンがあるといい
- ・自然豊かなまち
- ・街の中にゴミ箱を置いてもらいたい(分別できるゴミ箱)
- ・外用のルンバがあるといい
- ・犯罪がないまち
- ・子育てと仕事が両立できる
- ・娯楽系の施設があるといい
- ・大きな公園があるといい
- ・歩いていて楽しいまち
- ・家の近くで買い物できるといいな

■テーマ②

『そんな20年後を実現するために、今、取り組まなければならない一歩は…?』

『大人に応援してもらいたいことは…?』、『大人が応援できることは何でしょうか…?』

- ・電車やバスの運行本数を増やす
- ・交通機関を無料にする
- ・道路の段差をなくす
- ・自然を生かして公園にする
- ・山の中にサイクリングコースを作る
- ・立ち寄りやすい場所に交番を増やす
- ・週休3日にして、子育てと仕事が両立できるようにしてもらいたい
- ・会社に子どもを連れていけるようにする
- ・希望すれば必ず保育所に入れるようにする。
- ・仕事の時間を短くする(ただし、給料はそのまま!!)
- ・区画整理をする。田んぼを埋める。

※ 8/1(月)まで、事務局に提出してください。(電子データ、手書きどちらでもかまいません。)

要点記録用紙

(グループ内で出された意見をわかりやすく)

B グループ 議員名： 小田部峰之

「住み続けたいまち」って…？

■テーマ1

『みなさんにとって住みやすいまちとは…？』、

『20年後、自分が住んでいるまちはどんなまちになっていて欲しいでしょうか…？』

- ① 交通の便が良いまち(蔵王町の最寄り駅が東白石駅)
- ② 広くて遊具いっぱい公園
- ③ キレイなまち
- ④ 歩いていて気持ちが良いまち
- ⑤ 駄菓子屋に放課後寄り道できるまち
- ⑥ カフェ、温泉でバイトできるまち
- ⑦ 買い物、おしゃれな服屋さんのあるまち

高校生が住んでいるところ 岩沼市・蔵王町

■テーマ②

『そんな20年後を実現するために、今、取り組まなければならない一歩は…？』、

『大人に応援してもらいたいことは…？』、『大人が応援できることは何でしょうか…？』

- ① バスの本数を増やして欲しい(通学には時間が合わなくて使えない)
できれば電車通して！！
- ② 参加しやすいボランティア、個人で参加はハードルが高いので仲間や学校の部活で、ごみ拾い大会などに参加
- ③ 参加しやすいイベント 柚子を使った料理教室など
- ④ 柴田町のイベント、何をやっているか知らない(町のLINE活用)
- ⑤ 柴田町は治安が良いと思う
・おじいさん、おばあさんがやさしい ・挨拶してくれる
- ⑥ 駅前の活性化が必要。(キッチンカー)

要点記録用紙

(グループ内で出された意見をわかりやすく)

C グループ 議員名： 平間奈緒美

「住み続けたいまち」って…？

■テーマ①

『みなさんにとって住みやすいまちとは…？』

『20年後、自分が住んでいるまちはどんなまちになっていて欲しいでしょうか…？』

- ・道路歩道が整備されている。
- ・街灯が整備されていて夜道が明るい。
- ・災害が少ない。
- ・保証制度が整備されている。
- ・病院や学校などの施設が充実している。
- ・自転車や車の運転などの交通マナーを守る町。
- ・公共交通が整備されていて、利用しやすい環境になっていること。(本数が少なく利用しづらい)
- ・ゴミ捨て場が整備されている。
- ・ボールを使って遊べる公園があるといい。
- ・大きな書店があるといい。専門書などは仙台などにしかないから。
- ・スタバやドトールコーヒーなどがあるといい。その場を介して人が集まるし、勉強や仕事などができる環境になるから。
- ・人と人のかかわりがある。あいさつしてもらえるし、人が優しい。

■テーマ②

『そんな20年後を実現するために、今、取り組まなければならない一歩は…？』

『大人に応援してもらいたいことは…？』『大人が応援できることは何でしょうか…？』

- ・街灯の少ない「場所」「道」を調べて、近所の人のお話を聞きながら、町内で話し合っていく。
- ・ゴミ問題に関して、場所を調べ清掃するなどの対策をしていく。
- ・住民がどう思っているのか、アンケートを取る。
 - ①アンケートを取るときにキャンペーンをしてはどうか。例えば回答すると何か特典があるとか。その際には地元のを景品として活用する。
 - ②紙媒体のアンケートではなく、QRコードを活用することによって若い世代に回答してもらえる。
 - ③回答はインスタグラムのストーリーなどを使う。インスタグラムのストーリーは、24時間で消えるが、1回のみのお知らせだけでなく、再度アップすることで回答することを忘れていない人に対して有効な手段になる。

要点記録用紙

(グループ内で出された意見をわかりやすく)

D グループ 議員名：吉田 清

「住み続けたいまち」って…？

■テーマ1

『みなさんにとって住みやすいまちとは…？』、

『20年後、自分が住んでいるまちはどんなまちになっていて欲しいでしょうか…？』

- ① 交通・買い物が便利
- ② バスの便がいい
- ③ 花よりも人への補償に税金を
- ④ 治安がよいまち、街灯を多く
- ⑤ ソフト・ハードともに水害に強いまち
- ⑥ 避難所へ動物と行ける
- ⑦ 出産・育児へのサポート（出産費用無料など）
- ⑧ ゲームセンターなどの娯楽施設を多く
- ⑨ 家賃補償・賃貸補償(格安にて入居)
- ⑩ 学校のリホーム(建て替える)※柴田高校のトイレが古い
- ⑪ 体育館の空調設備(快適に)

■テーマ②

『そんな20年後を実現するために、今、取り組まなければならない一歩は…？』、

『大人に応援してもらいたいことは…？』、『大人が応援できることは何でしょうか…？』

- ①議員に直接言える機会を増やして欲しい
- ②子供議会(高校生版・高校生議会の実現)
- ③見守りボランティアを増やす
- ④行政で側溝清掃作業をするなど、きれいなまち←税金が上がる心配←募金をつのる(クラウドファンディングなど)

7/22開催 柴田高校懇談会



平間副議長 開会あいさつ

令和04年 7月22日撮影

7/22開催 柴田高校懇談会



アイスブレイク風景

令和04年 7月22日撮影

7/22開催 柴田高校懇談会



アイスブレイク風景

令和04年 7月22日撮影

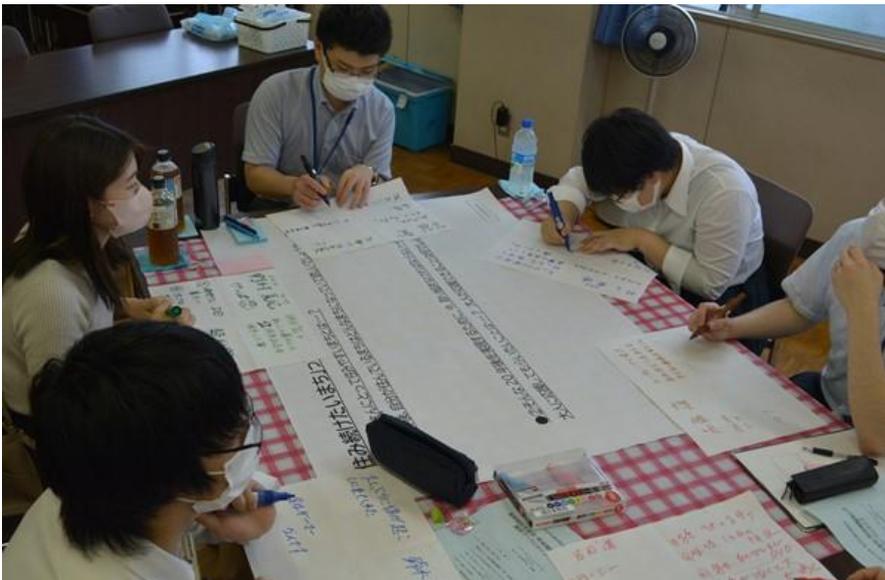
7/22開催 柴田高校懇談会



アイスブレイク風景

令和04年 7月22日撮影

7/22開催 柴田高校懇談会



アイスブレイク風景

令和04年 7月22日撮影

7/22開催 柴田高校懇談会



アイスブレイク風景

令和04年 7月22日撮影

7/22開催 柴田高校懇談会



ワークショップ
風景

令和04年 7月22日撮影

7/22開催 柴田高校懇談会



ワークショップ
風景

令和04年 7月22日撮影

7/22開催 柴田高校懇談会



グループごとの発表
情報共有

令和04年 7月22日撮影



グループごとの発表
情報共有

令和04年 7月22日撮影



石森 懇談会実行委員長
閉会あいさつ

令和04年 7月22日撮影



集合写真

令和04年 7月22日撮影

5 オンライン懇談会

・開催日時 令和4年 11 月 26 日(土)
10 時～11 時30分

・場 所 オンライン(ZOOM を使用)

・参加者

町民 5名

議員 7名

令和4年度 柴田町議会議員オンライン懇談会 開催要領

- 1 目的
・町民の多様な意見を的確に把握し、町政運営に適切に反映させる。
・オンライン形式での会議を議員自身で実際に運営することにより、アフターコロナの会議形式の1つであることを認識する。
- 2 日時
令和4年11月26日(土)午前10時00分～午前11時30分
- 3 場所
柴田町議会事務局内ほか
(ホスト役及び事務局職員は事務局で参加し、他の参加者はZOOMを利用してオンライン上で参加)
- 4 周知方法等
町で発行する「お知らせ版」及びホームページで、広く町民に声掛けを行う。参加人数の把握の観点から、申込締切を11月14日(月)とする。
※なお、定員は10名以内とするが、参加者が上限に達しない場合は、参加する議員がそれぞれ1名ずつ町民に声掛けをして、オンラインで実施する懇談会に参加してもらうこととする。
・懇談会当日までに、オンライン会議にアクセス可能なアドレス(予備含む)を連絡する。
- 5 主催
柴田町議会
- 6 参集範囲
議長、町議会議員6人(令和4年度議会懇談会実行委員)、町民10人以内
なお、ホスト役は当日、事務局会場に参集し、懇談会を指揮運営する。
- 7 タイムスケジュール案(10:00開会)

09:45～	ファシリテータ集合
09:50～	オンラインルーム開場(画像・音声確認)
10:00～	開会(司会者)
	➤(議長開会あいさつ)
	➤(進め方の説明)
	➤(各自の自己紹介等)
	➤大きなテーマは「柴田町のこと、議員と一緒に考えてみませんか？」
	➤(委員長閉会あいさつ)
11:30～	閉会

※タイムスケジュール(懇談会内容)については、今後委員長等と調整を図り決定する。

- 8 その他
・議員7人(議長含む)でのリハーサルを11月25日17時より実施する。

柴田町議会 オンライン懇談会 実施報告書

令和4年11月28日

議会懇談会実行委員会委員長 殿

下記のとおり実施しましたので報告します。

開催日時	令和4年11月26日(土) 10:00~11:40	開催場所	オンライン(ZOOM)
参加議員	7名(議長・実行委員6名)	参加者数	5名(一般公募・委員から紹介のあった町民)
実施内容 (テーマ)	「柴田町のこと、議員と一緒に考えてみませんか」の大きなテーマを設けるが、オンラインホストを務めた石森委員の進行のもと、コロナ禍でのまちづくりや普段困っていることなどをフリートーク形式で懇談する。		
主な内容 (質疑・意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナの影響で、各種イベントが中止になっているが、町主催のイベントを感染防止策を講じて開始して欲しい。(来月には城址公園の冬のイルミネーションが開始されるようだ) ・ 飲食を伴わない、地区のイベントはどんどんやるべきだと思う。集まると情報交換ができる。草刈りなども含めて。 ・ みんなの知恵を出しあってイベント復活できればよいなという印象。 ・ 今までの経験を生かしてそろそろ従来の方向に戻していくのがいいのでは。自己責任をもって参加する。心配な方は出席しないという形で。参加できる方から積極的に参加して盛り上げていくことが必要。 ・ 学校でもコロナ禍ではありながら、各種行事を工夫して実施している印象。学校関係者には感謝している。 ・ コロナの影響で3年イベントを中止している催しもある。3年していないと、経験者もいなくなるし、参加者も、もう参加しなくていいやと言う気持ちになる。議員として伝えていきたい。 ・ 槻木からは船岡に行くのが大変なので交通の便を改善していただければいい。 ・ 槻木地区には情報がなかなか入ってこない。丁寧に教えて欲しい。(高齢者はお知らせ版や回覧版の媒体しか情報を得る手段がない) ・ 白幡橋の老朽化が心配である。 ・ 町では、船岡を中心にイベントをやっている感じがする。今後、槻木地区を中心としたイベントを企画して欲しい。 		

- ・まちづくりでは、「槻木」「船岡」と二極化しないような施策を考えていきたい
- ・これからは高齢者が中心になっていくのが必然。そのようなことも考えたまちづくりを（例えば、交通弱者が利用する、デマンドタクシーは町内でしか運行されていない。病院等一部でよいので町外への運行も必要では。）。
- ・昔は船岡に住んでいて、楽しかったし派手だった印象がある。今は、とにかく寂しい。ほかから集めてくるくらい派手にやっていかないと柴田町は寂しくなる。だんだん暗い街になっていくと思う。
- ・町の入り口ともいえる、「船岡駅」の駅舎、老朽化していて寂しい印象。電車を利用する人にとっては玄関口となるので、何らかの改善策が必要。

- ・子どもが町長にインタビューする機会を作っていただければと思う。難しい話でなく、子どもの視点を重視して。

- ・SNS（ユーチューブやインスタ）でもっと情報を発信して欲しい。情報発信については旧態依然ではなく、その時代にあった媒体を利用しての発信が必要な時代。
- ・町で発信している情報が、住民まで届いていない部分がある。いわゆる尻切れトンぼ状態。議員だけでなく、各行政区長もきちんと住民（区民）に知らせるべきだし、情報発信する何らかの策も必要。

- ・町長は「花のまち」というが、どこが「花のまち」がわからない（住民もいる）。



11月26日 オンライン懇談会

司会者の進行の様子

令和04年11月26日撮影



11月26日 オンライン懇談会

司会者の進行の様子

令和04年11月26日撮影



11月26日 オンライン懇談会

ZOOMの状況

令和04年11月26日撮影

11月26日 オンライン懇談会



ZOOMの状況

令和04年11月26日撮影

11月26日 オンライン懇談会



ZOOMの状況

令和04年11月26日撮影

11月26日 オンライン懇談会



ZOOMの状況

令和04年11月26日撮影

6 令和5年度議会懇談会 実行委員会への申し送り 事項

6 令和5年度議会懇談会実行委員会への申し送り事項

○一般懇談会(対面式)については、継続実施していくことに意義がある。時勢等を勘案しながら、町民が関心のあるテーマを選定して実施して欲しい。

なお、開催時期については、今年度は町の「まちづくり住民懇談会」と開催日程が近かったことから、町の懇談会開催時期を意識した日程検討をお願いする。

また、実行委員会内で報告書を取りまとめる際、各会場から提出された報告内容の一部に、単語のみ・漠然とした内容で記載されていた文言が散見され、取りまとめに非常に苦労した。懇談会時の記録係にあっては、参加者から具体的に内容を聴き取ることを意識して、後日に誰が見ても理解できる記録にあたっていたいただきたい。

○オンライン懇談会については、今回は町のお知らせ版を利用し、参加者を公募した。人数は少なかったものの、公募で参加した方もいた。時間・日程の都合等でオンラインであれば参加できる町民もいると考えられることから、1つの実施手法としてとらえた上で、継続して開催されたい。

○団体懇談会にあっては、各常任委員会に実施方法や懇談する団体を一任して実施したが、報告書の内容から、いずれも、常任委員会の活動テーマに即した団体との懇談で充実した懇談であったと思われる。参加議員も5名から6名と懇談しやすい人数であることから、今後も常任委員会を活用した団体懇談会を継続していただきたい。

○柴田高校との懇談会については平成28年度から継続的に開催している。ここ数年は新型コロナウイルス感染症がまん延し、少人数での開催で実施しているが、平時に戻せる時期が来た際には、早い段階で高校側に協力を要請し、生徒側の参加規模を拡大したうえで開催する手法も検討して欲しい。

さらに、一步踏み込んだ企画として、対象を高校生だけでなく、町内の中学生や中学校といった新たな参加対象者との懇談会の開催可能性を検討して欲しい。